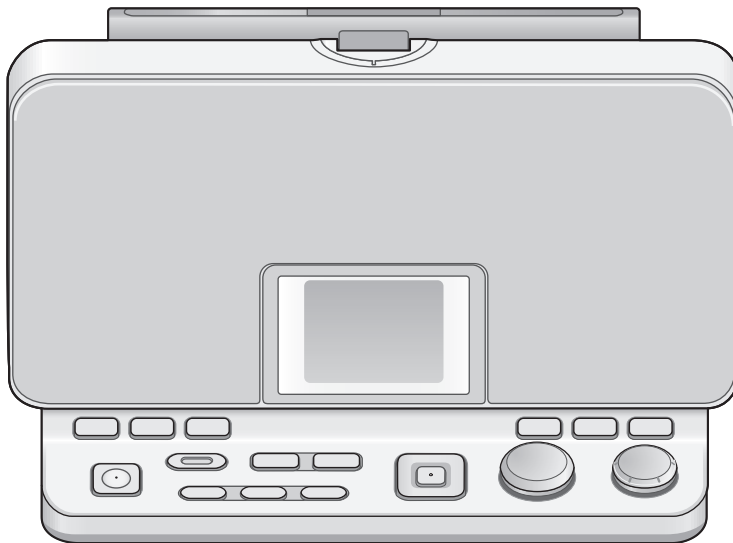
Panasonic®

取扱説明書

ラジオレコーダー

品番 RF-DR100

安全上のご注意
はじめに
準備
基本
応用
パソコン
その他

保証書別添付

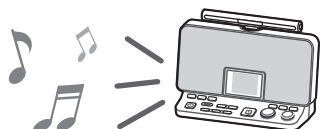
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(P.58 ~ 59)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT4K81-3

本機の楽しみかた

AM/FMラジオを聴く・録る

大型AMジャイロアンテナでしっかり受信できます。
深夜の放送や忙しい家事中もタイマーで忘れず再生・録音ができます。
(P.8, 12, 13, 14, 22)

録音したラジオを聴く

録音したラジオは、ICレコーダーモードで楽しむことができます。また、別売マイクなどを接続して録音することもできます。
(P.15, 43, 44)

放送・録音内容を聞き取りやすくする機能

放送中のラジオをゆったりとした口調に
ゆったりトーク
P.21

放送に合わせてワンタッチ操作
音質切り替え
P.21

語学学習や聞き取り練習に
シャドーイング再生
P.31

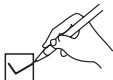
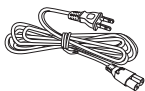
いろいろなタイマー機能

お気に入りの番組を逃がさず録音
録音タイマー
10:00
REC
最大20件まで設定できます。
P.22

めざましの代わりに
おめざめタイマー
P.23

電源の切り忘れに
おやすみタイマー
P.25

はじめに 付属品 / 別売品について

＜付属品＞

付属品をご確認ください。

□ **電源コード（1 本）**
【K2CA2CA00024】

＜別売品＞

AM ループアンテナ
【RP-CNME30】3.5 mm ミニプラグ

オーディオコード
【RP-CAM3G15】3.5 mm ステレオミニプラグ - 3.5 mm ステレオミニプラグ（抵抗なし）
【RP-CAPM3G15】3.5 mm ミニプラグ - ピンプラグ× 2

マイク
【RP-VK45】ボーカルマイク（モノラル） 3.5 mm ミニプラグ
【RP-VK35】ボーカルマイク（モノラル） 3.5 mm ミニプラグ
【RP-VK25】ボーカルマイク（モノラル） 3.5 mm ミニプラグ

USB ケーブル
【RP-CUMB10】USB（A タイプ）⇔ USB（ミニ B タイプ）

- かっこ【　】内は、2012 年 6 月現在の品番です。
- **電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。**
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品と別売品は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic Pana Sense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

**この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。**

VCCI-B

– このマークがある場合は –

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

目次

はじめに

準備

基本

応用

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（P.58 ～ 59）

パソコン

その他

困ったときは？

各部の名前

【前面】

FM ロッドアンテナ
AM ジャイロアンテナ
スピーカー
編集（消去）ボタン
メニューボタン
タイマーボタン
電源⏻/I ボタン
AM/FM/IC レコーダー モード切り替えボタン
LCD 表示部
選局方法 /–地域設定 ボタン
音質ボタン
ゆったりボタン
音量調節ダイヤル
選局（遅聞き / 早聞き）ダイヤル

1 A-B ↻ / お気に入り放送局 1 ボタン
2 少し戻る / お気に入り放送局 2 ボタン
3 インデックス / お気に入り放送局 3 ボタン

録音ランプ（動作表示ランプ）
● 録音ボタン
■ 停止 / 戻るボタン

⏮ （早戻し）ボタン
⏭ （早送り）ボタン
▲ （FM 音声モード）ボタン
▼ （検索）ボタン
▶ 決定 （再生）ボタン

【右側面】　【背面】　【左側面】

お願い

- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。
  テレビ等の近くに置かないでください。
- ヘッドホン（別売）を接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で、長時間聴くことは避けてください。

音のエチケット

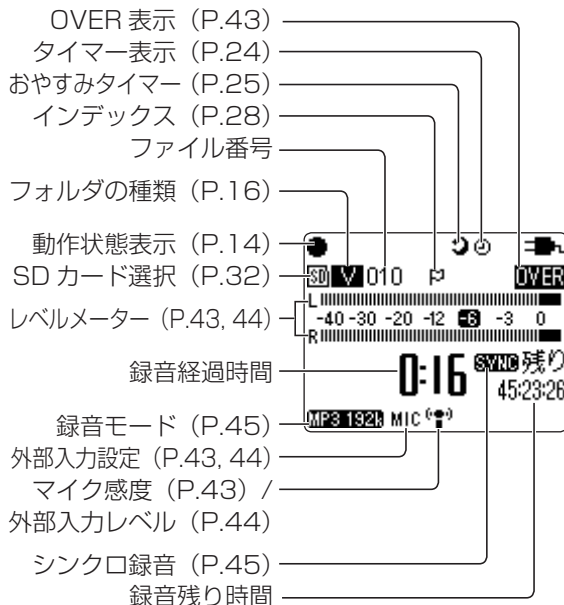
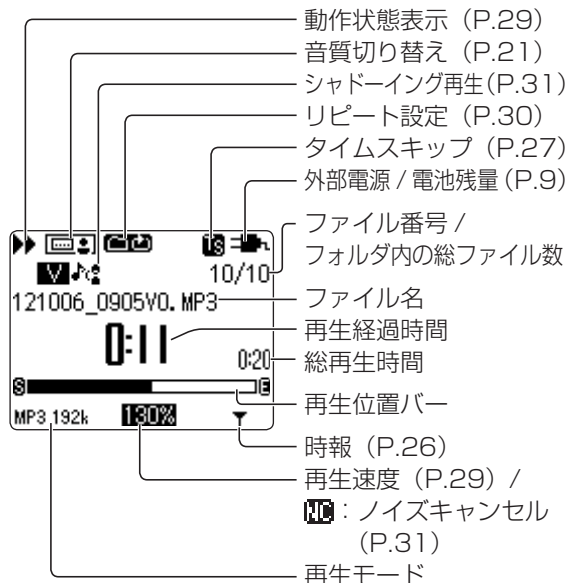
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

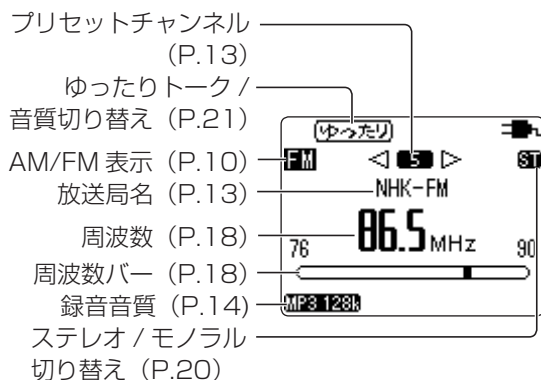
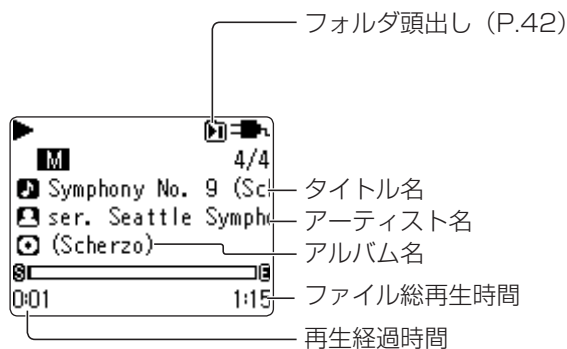
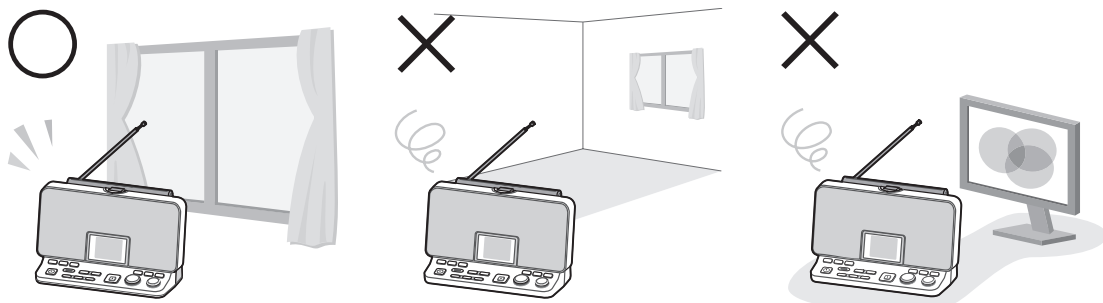
画面表示について

画面のアイコンは説明用です。同時に表示されることのない内容があります。

■IC レコーダーモード

【録音中】

【再生中】

■AM/FM ラジオモード

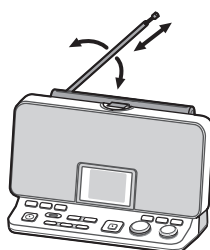
■MUSIC フォルダ選択中

受信場所や受信方法について

●本機を窓際など「ラジオの電波を受信しやすい場所」に設置する

- 本機でラジオを聴くときは、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用ください。
- 窓から遠い部屋の中や、ビルの中は電波が届きにくいため、受信状態が悪くなる可能性があります。
  その場合は、受信状態が良くなる場所に移動してください。
- テレビやパソコンなどの近くでラジオを聴くと受信状態が悪くなることがあります。
  このような場合は、テレビやパソコンから本機を離してご使用ください。
- 本機は、AM ステレオ放送や FM 文字放送、緊急警報には対応していません。

●アンテナを準備する

■AM ラジオを聴くとき

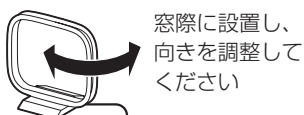
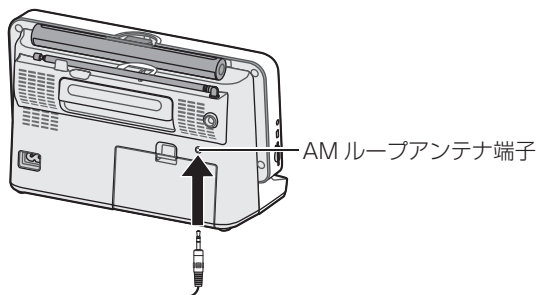
良く受信できる向きに
AM ジャイロアンテナを
回転させてください。

■FM ラジオを聴くとき

良く受信できるように
FM ロッドアンテナの
長さ、向き、角度を
調節してください。

お願い

- FM ロッドアンテナを前面側に向けているときは、先端が目などに当たらないようにお気をつけください。
- AM ジャイロアンテナまたは FM ロッドアンテナを持って、本機を移動させると故障の原因となります。
  本機を移動させる場合は、必ず本機背面の取っ手（P.6）をしっかり持って移動してください。

■AM ループアンテナ（別売）を接続する

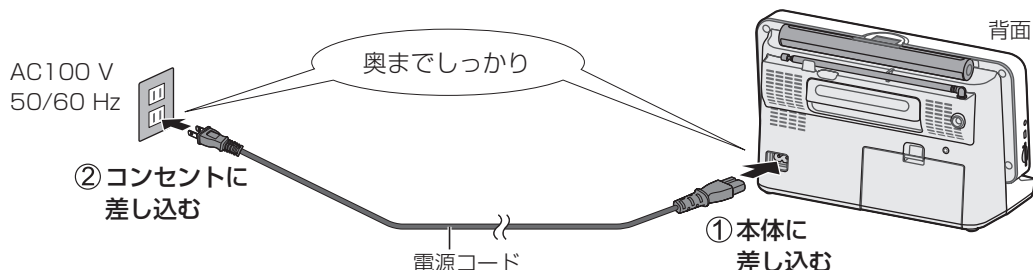
受信状態の良い窓際などに本機を設置できない場合は、AM ループアンテナ（別売）（P.3）のご使用をおすすめします。本機背面の AM ループアンテナ端子に接続してください。

窓際に設置し、
向きを調整して
ください

お願い

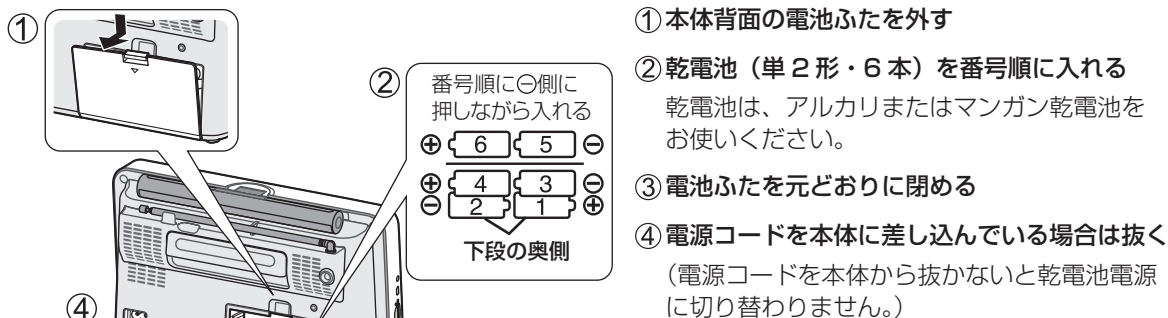
- **AM ループアンテナの取り付けや取り外しを行ったあとは、電源を入れ直してください。**

お知らせ

- AM ループアンテナ接続時は、本体の AM ジャイロアンテナは無効になります。

準備 電源を準備する

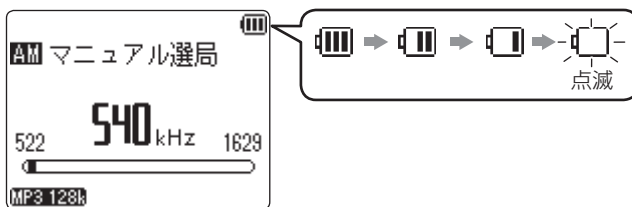
コンセントで使うとき

電源コードを外すときは、まず電源を切ってから（P.10）、逆の順序（②、① の順）でコードを抜いてください。

乾電池（別売）で使うとき

① **本体背面の電池ふたを外す**

② **乾電池（単 2 形・6 本）を番号順に入れる**
乾電池は、アルカリまたはマンガン乾電池をお使いください。

③ **電池ふたを元どおりに閉める**

④ **電源コードを本体に差し込んでいる場合は抜く**
（電源コードを本体から抜かないと乾電池電源に切り替わりません。）

<電池の残量表示について>
本機の動作中、下記の電池残量アイコンが表示されます。

お願い

- **乾電池での使用中は、電源コードを差し込まないでください。**電源が切れる場合があります。
- 電池残量がなくなると ▯ が点滅します。お早めに電池を交換してください。
- 時計設定を保持するため、電池交換時は事前に交換用の電池を準備しておいてください。
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。
- **電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
  電源を入れたままで電池を取り出すと、データが失われたり、本機の故障につながることがあります。

お知らせ

- 電池残量表示が ▯（点滅）のときに操作を行うと、自動的に電源が切れます。

準備 電源を入れる / 切る

【電源を入れる】

電源⏻/I

を押す

本機の電源が入り、「HELLO!」と画面に表示されます。

HELLO!

初めて本機の電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。（P.11）

■音声ガイドについて

本機は、各操作を音声でご案内する「音声ガイド機能」を搭載しています。
- 音声ガイドでご案内する音声には、画面に表示される文言と一致しないものもあります。
- 音量を小さくしたり消したいときは、「操作音設定（音声ガイド）」（P.46）をご覧ください。

【電源を切る】

電源⏻/I

を押す

「GOOD BYE!」が表示されたあと、本機の電源が切れます。

GOOD BYE!

お願い

● 録音中、録音タイマー動作中（待機中含む）に電源を切るには、■（停止 / 戻る）を押したあと、電源⏻/I を押してください。

■オートパワーオフについて

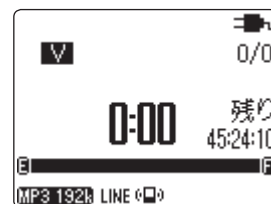
本機は、一定時間経過すると、自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」を搭載しています。
- 設定を解除したり時間を変更したいときは、「オートパワーオフ」（P.46）をご覧ください。

準備 動作モードを切り替える

本機は、AM/FM ラジオを聴いたり録音するときの「AM/FM ラジオモード」と、音声を録音したり、本機に転送した音楽などを聴いたりするときの「IC レコーダーモード」があります。

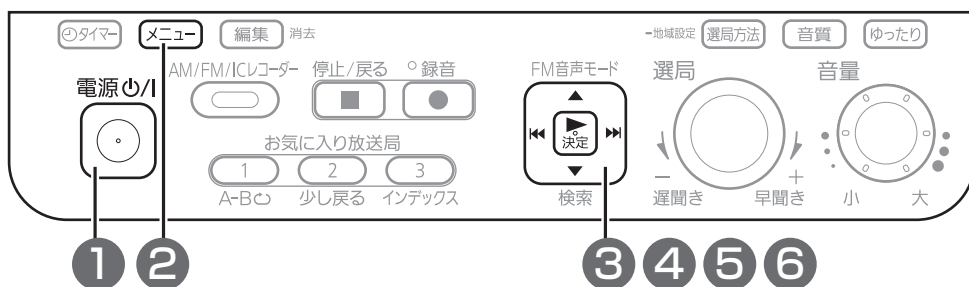
1 電源を入れる（上記）

2 AM/FM/ICレコーダー を押す

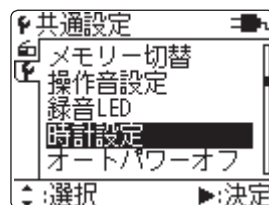
押すたびに以下のように切り替わります。

準備 時計を合わせる（時計設定）

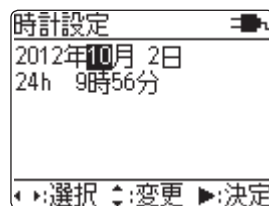
お買い上げ時、本機の時計は設定されていません。
時計はファイル名（P.50）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。
時計設定されていない状態で電源を入れると、手順 ❺ の画面が表示されます。

❶ 電源を入れる（P.10）

❷ を押す

❸ ▲/▼ で「共通設定」を選び、▶決定 を押す

❹ ▲/▼ で「時計設定」を選び、▶決定 を押す

（右記画面は【ラジオモード】の場合）

❺ 日付と時刻を設定する

①⏮/⏭ で年、月、日、24h/12h（AM/PM）、時、分を選ぶ
（24 時間で表示したいときは「24h」、12 時間で表示したいときは「AM/PM」を選択します。）
②▲/▼ で数値を変更する

❻ ▶決定 を押す

日時が設定されます。

設定画面を閉じるには メニュー を押す。

■設定した時刻を表示するには

<ファイル情報を確認する>の「情報画面」で確認してください。（P.16）

お知らせ

- 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。
- 以下の場合、時計設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 電池を入れずに電源コードを外した状態で、約 48 時間以上放置した場合
  - 電池が消耗している状態で放置した場合
- 電源コードで使用中は、電源を切ると設定した時刻が表示されます。（乾電池の場合は表示されません。）
- 「時報設定」（P.26）を ON にしておくと、ラジオの時報を受信することにより、時刻を自動的に修正することができます。

準備 ラジオを聴く前に

放送地域を設定する（エリアバンド）

お使いになる地域を設定すると、その地域の放送局をプリセットチャンネルに登録し、簡単に選局することができます。

❶ **電源を入れる** （P.10）

❷ AM/FM/ICレコーダー **を押して、AM または FM ラジオモードを選ぶ** （P.10）

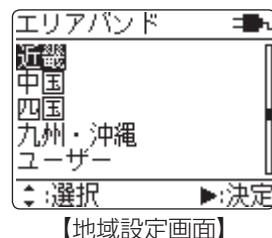
❸ 地域設定 選局方法 **を約 2 秒間押して、地域設定画面（エリアバンド）にする**

【地域設定画面】

❹ **▲/▼ で地域を選び、▶決定 を押す**

（お買い上げ時は **“ユーザー”**）

❺ **▲/▼ でお住まいの都道府県を選び、▶決定 を押す**

設定した地域の放送局が AM/FM ともにプリセットチャンネルに登録されます。

■エリアバンド一覧

地域	都道府県					
北海道	北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（釧路）	北海道（網走）
	北海道（室蘭）	北海道（北見）	北海道（小樽）			
東北	青森県（青森）	岩手県（盛岡）	宮城県（仙台）	秋田県（秋田）	山形県（山形）	福島県（福島）
関東	茨城県（水戸）	栃木県（宇都宮）	群馬県（前橋）	埼玉県（さいたま）	千葉県（千葉）	東京都
	神奈川県（横浜）					
甲信越・北陸	新潟県（新潟）	富山県（富山）	石川県（金沢）	福井県（福井）	山梨県（甲府）	長野県（松本）
東海	岐阜県（岐阜）	静岡県（静岡）	愛知県（名古屋）	三重県（津）		
近畿	滋賀県（大津）	京都府（京都）	大阪府（大阪）	兵庫県（神戸）	奈良県（奈良）	和歌山県（和歌山）
中国	鳥取県（鳥取）	島根県（松江）	岡山県（岡山）	広島県（広島）	山口県（山口）	
四国	徳島県（徳島）	香川県（高松）	愛媛県（松山）	高知県（高知）		
九州・沖縄	福岡県（福岡）	福岡県（北九州）	佐賀県（佐賀）	長崎県（長崎）	熊本県（熊本）	大分県（大分）
	宮崎県（宮崎）	鹿児島県（鹿児島）	沖縄県（那覇）			
ユーザー※						

※ オートプリセット（P.18）で受信した放送局が登録されます。

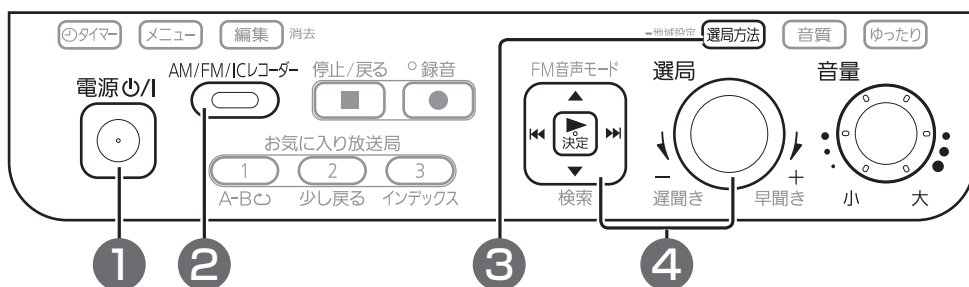
設定画面を閉じるには 選局方法 **を押す。**

お知らせ

● エリアバンドで設定した地域（都道府県）やユーザーは、AM/FM それぞれ最大 20 チャンネルまで登録が可能です。（P.18）
電源を切ったあと、電源コードを抜いたり電池を取り外した場合でも、設定を記憶しています。

基本 ラジオを聴く

登録した放送局を聴く（プリセット選局）

プリセットチャンネルに登録した放送局を選局して聴く方法を、「プリセット選局」といいます。

1 電源を入れる（P.10）

2 AM/FM/ICレコーダー を押して、AM または FM ラジオモードを選ぶ（P.10）

3 選局方法 を押して、プリセット選局画面にする

（押すたびに【プリセット / マニュアル選局画面】に切り替わります。）

プリセットチャンネル

エリアバンドを設定すると放送局名が表示されます。

【プリセット選局画面】

4 または ⏮/⏭ で、プリセットチャンネルに登録された放送局を選ぶ

■音量を調整するには

0 ～ 20 までの間で調整できます。
（お買い上げ時は “10”）

お知らせ

- 手順 4 でラジオ受信中に ■（停止 / 戻る）を押すと、「現在時刻」、「録音残り時間」、「録音先」の情報を確認することができます。
- プリセット選局を行うには、あらかじめ放送局をプリセットチャンネルに登録しておいてください。
  放送地域（エリアバンド）の設定（P.12）またはオートプリセット（P.18）で登録することができます。

準備

基本

基本 ラジオを録音する

❶ **電源を入れる** (P.10)

❷ AM/FM/ICレコーダー **を押して、AM または FM ラジオモードを選ぶ** (P.10)

❸ 選局 **または ⏮/⏭ で、放送局を選ぶ** (P.13)

❹ ○録音 ● **を押す（録音開始）**

録音ランプが点灯します。

❺ 停止/戻る ■ **を押す（録音停止）**

録音ランプが消灯します。

■録音を一時停止するには

録音中に、●（録音）を押す（録音ランプと録音経過時間が点滅します。）

録音を再開するときは、再度 ●（録音）を押す

■タイマー予約で録音するには (P.22)

お知らせ

● 録音中、LCD 表示部のバックライトは消灯します。(P.46)

ラジオの録音音質を設定する

録音するときの音質（ビットレート）を設定することができます。

① メニュー **を押す**

② **▲/▼ で「ラジオ設定」を選び、▶決定 を押す**

③ **▲/▼ で「AM ラジオ録音音質」または「FM ラジオ録音音質」を選び、▶決定 を押す**

④ **▲/▼ で音質を選び、▶決定 を押す**

録音音質の設定によって、音質と録音可能時間 (P.57) が変わります。

192kbps	128kbps	32kbps

（お買い上げ時は **“128kbps”**）

録音音質が“32kbps”の場合、モノラル録音になります。

AMラジオ録音音質
192kbps
128kbps
32kbps
⇕:選択 ▶:決定

設定画面を閉じるには メニュー **を押す。**

基本 録音したラジオを再生する

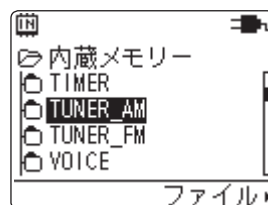
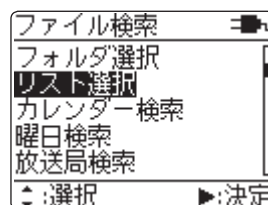
❶ 電源を入れる（P.10）

❷ AM/FM/ICレコーダー を押して、IC レコーダーモードを選ぶ（P.10）

❸ ▼（検索）で、ファイル検索画面にする

❹ ▲/▼ で「リスト選択」を選び、▶決定 を押す

❺ ▲/▼ で「TUNER_AM」（AM ラジオの場合）または「TUNER_FM」（FM ラジオの場合）を選び、▶決定 を押す

❻ ▲/▼ でファイルを選び、▶決定 を押す（再生開始）

本機で録音したファイル名については、P.50 をご覧ください。

■再生中の操作

とび越し（スキップ）：⏮/⏭ を押す

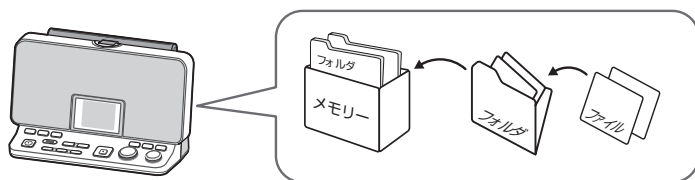
ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。
ファイルの先頭で約 1 秒以内に ⏮ を押すと、前のファイルに戻ります。

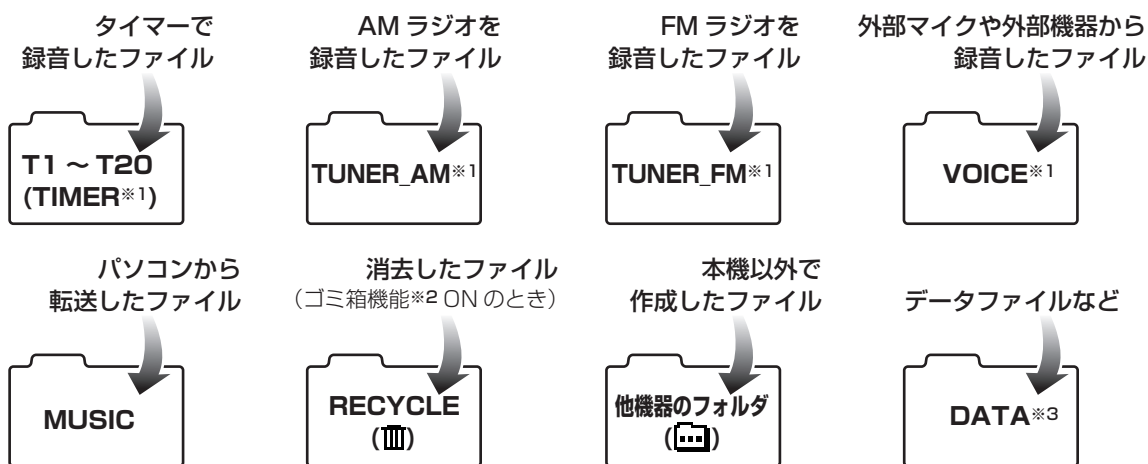
早戻し / 早送り（サーチ）：⏮/⏭ を押したままにして、聴きたいところで離す

停止する：■（停止 / 戻る）を押す

お知らせ
- 録音した日付や曜日から、ファイルを検索することもできます。（P.34）
- 最後に再生を停止した位置を記憶しています。
- ラジオ放送以外のファイルを再生する場合は、「録音した音源の保存先」（P.16）を参考にして、上記手順 ❺、❻ を行ってください。
- 手順 ❹ で「フォルダ選択」（P.33）を選んでも、再生することができます。

応用 録音した音源の保存先

本機では複数のフォルダが用意されており、ファイルはフォルダに収納されてメモリー（内蔵メモリーまたはSDカード）に保存されます。

＜ファイルとは＞
録音開始から停止するまでを1つの録音データとして保存したものを、ファイルと呼びます。

＜フォルダとは＞
ファイルを入れておく場所です。本機には以下のフォルダがあります。

※1 SDカードの場合はフォルダ名の後ろに「_SD」が付きます。
※2 ゴミ箱機能については、P.47をご覧ください。
※3 パソコンでのみ表示されます。

お知らせ

- 各フォルダの最大ファイル数は、199ファイルです。（ただし、T1 ～ T20は99ファイル）
- MUSICフォルダについてはP.40を、他機器のフォルダ（）についてはP.50をご覧ください。

＜ファイル情報を確認する＞

（■）（停止／戻る）を押して、停止状態にしておく。

①（■）（停止／戻る）を押す

選択中のファイルの情報画面が表示されます。

②▲／▼で情報画面を上下に動かす

情報画面を閉じるには（■）（停止／戻る）を押す。

【情報画面】

お知らせ

- MUSICフォルダ、他機器のフォルダ（）では、「録音日時」と「録音元」は表示されません。
- AM/FMラジオモードでは「現在時刻」、「録音残り時間」、「録音先」が表示されます。
- 情報のない項目は「－－－」などで表示されます。

ラジオのいろいろな聴きかた

ラジオの周波数を自由に合わせて聴く（マニュアル選局）

ラジオの周波数を合わせて聴く方法を「マニュアル選局」といいます。

AM または FM ラジオモードにしておく。（P.10）

1 選局方法 を押して、マニュアル選局画面にする

（押すたびに【プリセット / マニュアル選局画面】に切り替わります。）

【マニュアル選局画面】

2 選局 − + または ⏮/⏭ で、お好みの周波数に合わせる（AM: 9 kHz 間隔 FM: 0.1 MHz 間隔）

【AM ラジオ受信画面】

周波数

【FM ラジオ受信画面】

お知らせ

- 手順 ❷ で ⏮/⏭ を約 1 秒押すと、表示している周波数から順に放送局を探します。放送局を受信すると、自動的に止まります。
  - 電波が弱く受信状態が良くない場合は、自動で停止しない場合があります。
  - 周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。

お気に入り放送局を登録する

お気に入り放送局の 1 ～ 3 に放送局を登録することができます。お気に入り放送局に登録しておくと、ボタンを押すだけでお気に入りの放送局を選局することができます。（AM/FM それぞれ最大 3 チャンネル）

AM または FM ラジオモードにしておく。（P.10）
登録したい放送局を受信しておく。（P.13、上記）

1 お気に入り放送局 1 2 3 の中から、登録したいボタンを約 2 秒間押したままにする

■登録した放送局を聴くには

電源を入れたあと、AM/FM ラジオ受信中に登録した番号のボタンをポンと押す

■登録した放送局を変更するには

再度、上記手順 ❶ を行う

応用 ラジオのいろいろな聴きかた（続き）

放送局を自動で登録する（オートプリセット）

お使いの場所で受信できる放送局を自動で登録することができます。（AM/FM それぞれ最大 20 チャンネル）

AM または FM ラジオモードにしておく。（P.10）

1. メニュー を押す
2. ▲/▼ で「ラジオ設定」を選び、▶決定 を押す
3. ▲/▼ で「オートプリセット」を選び、▶決定 を押す
4. ▲/▼ で「AM」または「FM」を選び、▶決定 を押す

「オートプリセット中 ...」と表示され、設定地域（エリアバンド）の「ユーザー」へ受信した放送局を登録します。
放送地域（エリアバンド）は「ユーザー」へ自動的に設定されます。（P.12）

お知らせ

- オートプリセットで受信した放送局は、放送局名が表示されません。
- 電波が弱く受信状態が良くないときは、放送局が登録されません。（AM は 522 kHz、FM は 76.0 MHz がプリセットチャンネル 1 に登録されて終了します。）
- 妨害電波などがあるときは、受信可能な放送局以外の周波数が登録される場合があります。

放送局を個別に登録する

受信中の放送局を個別に登録することができます。
（設定地域・ユーザーごとに、AM/FM それぞれ最大 20 チャンネル）

AM または FM ラジオモードにしておく。（P.10）
登録したい放送局を受信しておく。（P.13、17）

1. 編集 を押す
2. ▲/▼ で「登録」を選び、▶決定 を押す
   「MEMORY」が点滅します。
3. ⏮/⏭ で登録するチャンネル（1 ～ 20）を選び、▶決定 を押す
   選んだチャンネルに放送局が登録されます。

登録するチャンネル

プリセット登録
AM ◁ 1 ▷
540 kHz MEMORY
522 1629
◀ ▶:選択 ▶:決定

設定画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

- プリセット登録した内容は、設定した地域またはユーザーのプリセットチャンネルに上書きされます。

登録した放送局を個別に削除する

AM または FM ラジオモードにしておく。(P.10)
プリセット選局画面にしておく。(P.13)
削除したい放送局を受信しておく。(P.13)

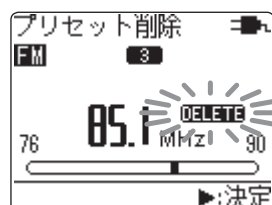
1 〔編集〕を押す

2 ▲/▼ で「削除」を選び、▶決定 を押す

「DELETE」が点滅します。

3 ▶決定 を押す

選んだ放送局が削除されます。

設定画面を閉じるには 〔編集〕を押す。

登録した放送局を初期化する

変更や登録の追加、削除などを加えたプリセットチャンネルを、お買い上げ時の状態に戻します。

AM または FM ラジオモードにしておく。(P.10)

1 〔編集〕を押す

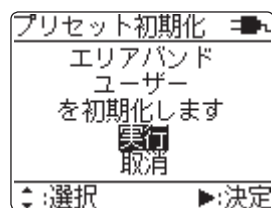
2 ▲/▼ で「プリセット初期化」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

プリセット初期化
エリアバンド
ユーザー
を初期化します
実行
取消
⇕:選択 ▶:決定

設定画面を閉じるには 〔編集〕を押す。

応用

応用

ラジオの雑音を減らす

「受信場所や受信方法について」（P.8）を参考にアンテナ調整などを行っても、雑音が入る場合に設定を行ってください。

AM ラジオの雑音を減らす（AM 画面表示）

画面表示を OFF にする（消す）と雑音が減る場合があります。

AM ラジオモードにしておく。(P.10)

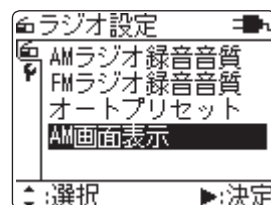
1 メニュー を押す

2 ▲/▼ で「ラジオ設定」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「AM 画面表示」を選び、▶決定 を押す

4 ▲/▼ で「OFF」を選び、▶決定 を押す

OFF： キー操作後、約 2 秒間画面を表示してから消灯します。
何も操作をしていないときは、自動的に画面表示が消え、録音ランプ（動作表示ランプ）が約 3 秒間隔で点滅します。
いずれかのボタンを押すと、約 2 秒間画面が表示されます。

常時 ON： 常に画面が表示されます。
（お買い上げ時は **"常時 ON"**）

設定画面を閉じるには メニュー を押す。

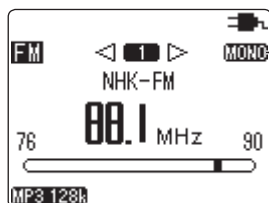
お知らせ

● AM ラジオモード時のみ有効です。

FM ラジオの雑音を減らす（FM 音声モード）

ステレオからモノラルに切り替えると聞き取りやすくなる場合があります。

FM ラジオモードにしておく。(P.10)

1 ▲（FM 音声モード）を押す

（押すたびに切り替わります。）
（お買い上げ時は **"ST（ステレオ）"**）

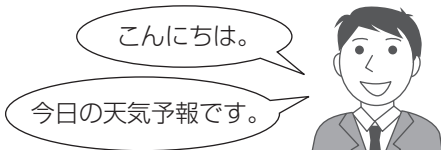
お知らせ

● FM ラジオモード時のみ有効です。

応用 聴く音質や速さを変える

放送中のラジオのスピードを遅くする（ゆったりトーク）

ラジオ放送の言葉をゆったりとした口調にして、聞き取りやすくする機能です。

＜ゆったりトークの効果が得やすい番組＞

ニュース / ドラマ / 教養講座など
言葉と言葉の間に無音部分が多いもの

＜ゆったりトークの効果が得にくい番組＞

音楽番組など
音が連続していて無音部分が少ないもの

AM または FM ラジオモードにしておく。（P.10）

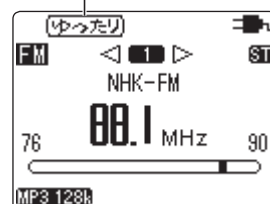
ゆったり が表示されます。

FM ◁ 1 ▷ ST
NHK-FM
88.1 MHz
76 90
MP3 128k

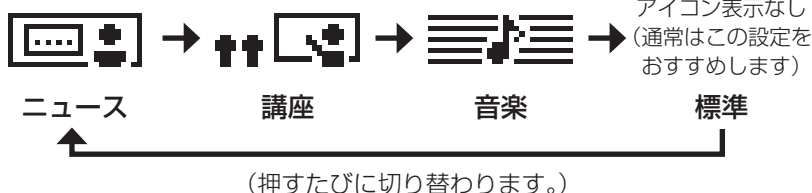
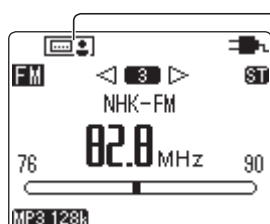
■ゆったりトークを解除するには

再度 ゆったり を押す

下記の場合にも解除されます。
- 電源を切ったとき
- 聴く音質を切り替えたとき
- ステレオ / モノラルを切り替えたとき
- 放送局を変更したとき
- 録音を開始したとき
- プリセット / マニュアル選局を切り替えたとき

お知らせ
- ラジオ放送受信時のみ使用できます。
- ゆったりトークの速度は、放送内容により変化しますが、通常の約 80% です。速度は変更できません。
- ゆったりトークの音質は変更できません。
- 受信状態が悪いときは、聴きにくくなることがあります。

聴く音質を切り替える

お好みの音質を設定して楽しむことができます。

1 音質 を押す

お知らせ
- 録音中、おめざめタイマー（P.23）再生中は使用できません。

応用

応用 タイマーを使う

設定した日時にタイマー予約をすることができます。録音のほかに、ファイルを再生したり、電源を切ることもできます。あらかじめ、時計を正しく設定しておいてください。(P.11)
タイマー予約実行時の音量は、タイマー予約設定時の音量となります。あらかじめ適切な音量に設定してから予約設定を行ってください。

録音タイマー

設定した日時に録音を開始することができます。最大 20 件まで設定できます。

■(停止 / 戻る)を押して、停止状態にしておく。

1 タイマー を押す

2 ▲/▼ で「録音タイマー」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で予約番号(1 ～ 20)を選び、▶決定 を押す

録音タイマー
1 ON 7:30 IN T1
2 OFF 0:00 IN T2
3 OFF 0:00 IN T3
4 OFF 0:00 IN T4
5 OFF 0:00 IN T5
選択 ▶設定へ

IN: 内蔵メモリー
SD: SD カード

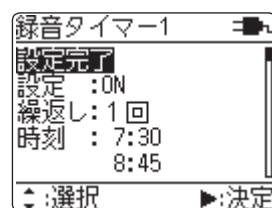
4 日時や録音元など各項目を設定する

①▲/▼ で項目を選び、▶(決定)を押す
②▲/▼、⏮/⏭ で設定を選び、▶(決定)を押す
①、② を繰り返し、設定します。

設定項目	内容
設定	OFF(タイマーを動作しません。)、ON(タイマーを動作します。)
繰返し	**1 回、毎日、曜日指定、日付指定** <曜日指定を選んだとき> ①▲/▼ で曜日を選び、▶(決定)で□にチェックマーク(✓)を入れる(複数選択可能) (再度 ▶(決定)を押すと、選択解除します。) ②▲/▼ で一番下の「確定」を選び、▶(決定)を押す <日付指定を選んだとき> ①⏮/⏭ で月、日を選び、▲/▼ で数値を変更する ②▶(決定)を押す(日付指定は翌月まで設定できます。)
時刻※1	**開始時刻**と**終了時刻**の設定(設定可能時間:12 時間)
録音元	**AM、FM、外部マイク(MIC)、外部入力(LINE)** < AM または FM を選んだとき> ①▲/▼ でチャンネル(CH00)または周波数を選び、▶(決定)を押す ②▲/▼ で受信したい放送局のプリセットチャンネルまたは周波数を選び、▶(決定)を押す
音質	**192kbps、128kbps、32kbps**
録音先	**T1 ～ T20**(保存するフォルダを選びます。) 編集 で内蔵メモリーと SD カードが切り替わります
出力※2	**OFF**(録音タイマー動作中に音声出力しません。)、**ON**(録音タイマー動作中に音声出力します。)

※1 開始時刻や終了時刻を設定する場合、AM(午前)と PM(午後)を間違えないようにしてください。
AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。
※2 録音元で、AM または FM を選んだ場合に表示されます。

5 ▲/▼ で「設定完了」を選び、▶決定 を押す

途中で ■(停止 / 戻る)や タイマー などを押すと、「設定した内容で登録しますか?」と表示される場合がありますので、「はい」を選び、▶(決定)を押してください。
設定すると (タイマー表示)が点灯します。(P.24)

設定画面を閉じるには タイマー を押す。

おめざめタイマー

設定した日時にアラームを鳴らしたり、ラジオを聴くことができます。

(■)（停止 / 戻る）を押して、停止状態にしておく。

1 (タイマー) を押す

2 ▲/▼ で「おめざめタイマー」を選び、▶決定 を押す

タイマー設定
おやすみタイマー
録音タイマー
おめざめタイマー
時報設定
⇕:選択 ▶:設定へ

3 日時や再生元など各項目を設定する

①▲/▼ で項目を選び、▶（決定）を押す
②▲/▼、⏮/⏭ で設定を選び、▶（決定）を押す
①、② を繰り返し、設定します。

設定項目	内容
設定	**OFF**（タイマーを動作しません。）、**ON**（タイマーを動作します。）
繰返し	**1 回、毎日、曜日指定、日付指定** 操作方法は、「録音タイマー」設定時と同じです。（P.22）
時刻※	**開始時刻**と**終了時刻**の設定（設定可能時間：12 時間）
再生元	**AM、FM、アラーム、ファイル再生** < AM または FM を選んだとき> 操作方法は、「録音タイマー（録音元）」設定時と同じです。（P.22） <ファイル再生を選んだとき> 選択中のフォルダのファイルリストが表示されます。 ①▲/▼ でファイルを選び、▶（決定）を押す フォルダを切り替えて選ぶ場合は、⏮ を押すと、フォルダ階層を移動できます。 (編集) で内蔵メモリーと SD カードが切り替わります

※ 開始時刻や終了時刻を設定する場合、AM（午前）と PM（午後）を間違えないようにしてください。
AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。

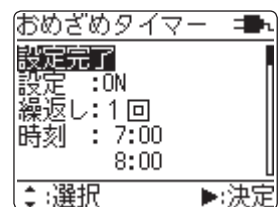
4 ▲/▼ で「設定完了」を選び、▶決定 を押す

途中で (■)（停止 / 戻る）や (タイマー) などを押すと、「設定した内容で登録しますか？」と表示される場合がありますので、「はい」を選び、▶（決定）を押してください。
設定すると (タイマー表示) が点灯します。（P.24）

おめざめタイマー
設定完了
設定 :ON
繰返し:1回
時刻 : 7:00
8:00
⇕:選択 ▶:決定

設定画面を閉じるには (タイマー) を押す。

応用

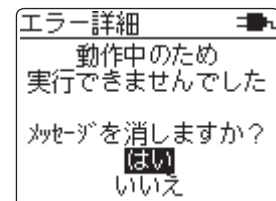
応用 タイマーを使う（続き）

タイマーの予約状態や実行状況を確認する

（タイマーアイコン）：録音タイマーまたはおめざめタイマーが設定されています。タイマー実行中は表示が点滅します。
（失敗アイコン）：繰返し設定が「1 回」のときに、録音タイマーに失敗すると表示されます。
（失敗アイコン）：繰返し設定が「毎日」または「曜日指定」のときに、録音タイマーに失敗すると表示されます。
次回のタイマーが正常に動作すると、（タイマーアイコン）の表示に戻ります。

■録音タイマーに失敗したとき

録音タイマー設定画面の予約番号の先頭に「×」が付きます。

（画面は一例です）

編集 を押すと、失敗した要因が表示されます。
右記画面で「はい」を選ぶと、「×」が表示されなくなります。
再度タイマーを設定してください。

■録音先フォルダ内のファイルを確認するには

①P.22 の手順 ❶ ❷ を行う
②▶▶| を押す
③▲/▼ で確認したいフォルダを選び、▶（決定）を押す
録音先に設定されているフォルダ内のファイルが一覧で表示されます。

お知らせ

- 予約時刻に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し※、終了時刻に電源が切れます。
  ※おめざめタイマーの場合、少し遅れて AM/FM ラジオの受信またはファイルの再生を開始します。
- 録音タイマー開始時刻の 1 分前になると、録音ランプが点滅し、録音待機状態になります。
- 録音元を外部マイク（MIC）や外部入力（LINE）に設定した場合、録音タイマー実行時点の録音設定（マイク感度（P.43）や外部入力レベル設定（P.44）など）で録音されます。
- 録音タイマー、おめざめタイマー動作中は、停止および音量調整以外の操作はできません。
- おめざめタイマーで再生するファイルを消去すると、タイマー開始時刻にアラーム音が鳴ります。アラーム音を止めるには、本機のいずれかのボタンを押してください。
- アラーム音の音量は、「共通設定」の「操作音設定（音声ガイド）」（P.46）で設定した音量により、3 段階で調整されます。操作音が OFF に設定されている場合は、OFF に設定される前の音量設定になります。（お買い上げ時は“音量中”）
- おめざめタイマーで再生するファイルが、設定した開始から終了までの時間より短い場合、終了時刻まで繰り返し再生します。
- 時計設定がお買い上げ時の設定に戻った場合、タイマーの実行設定は自動的に OFF になります。

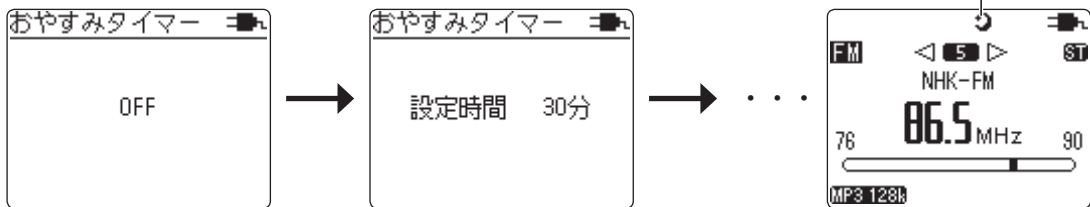
おやすみタイマー

設定した時間が経過したあと、自動的に電源が切れる機能です。

［■］（停止 / 戻る）を押して、停止状態にしておく。

1 ［タイマー］を 2 回押して、おやすみタイマー設定画面にする

2 ［タイマー］を押して、設定したい時間を選ぶ

（押すたびに 10 分ずつ変わります。）

【おやすみタイマー設定画面】

設定時間：**OFF、30 分〜 120 分**
（お買い上げ時は **“OFF”**）

設定したい時間を表示したまま約 3 秒間経過すると、設定が確定したあと、元の画面に戻ります。

■残り時間を確認するには

［タイマー］を 2 回押す
残り時間を表示したまま約 3 秒経過すると、元の画面に戻ります。
（残り時間の表示中に、［タイマー］押したり ▶（決定）を押すと、設定時間が変わります。）

■おやすみタイマーを解除するには

上記手順 ❷ で「OFF」が表示されるまで［タイマー］を押す

応用

お知らせ

- おやすみタイマーは、一度実行すると設定が「OFF」に戻ります。
- 録音中、録音一時停止中は、おやすみタイマーの設定はできません。
- 録音中や再生中に、おやすみタイマーの設定時間が経過すると、電源が切れます。
- おやすみタイマーを設定した時間と、録音タイマーやおめざめタイマーの実行時間が重なっている場合は、録音タイマーやおめざめタイマーの実行が優先されます。タイマー予約実行の終了後に電源が切れます。

応用

時計のずれを直す

ラジオの時報を受信することで、現在時刻を自動的に修正することができます。

時報を使って自動で修正する

■（停止 / 戻る）を押して、停止状態にしておく。

1 タイマー を押す

2 ▲/▼ で「時報設定」を選び、▶決定 を押す

3 受信先、受信時間など各項目を設定する

①▲/▼ で項目を選び、▶（決定）を押す
②▲/▼、⏮/⏭ で設定を選び、▶（決定）を押す
①、② を繰り返し、設定します。

設定項目	内容
設定	OFF（時報設定を実行しません。）、ON（時報設定を実行します。）
受信先	①時報の受信先を AM/FM から選びます ②受信する放送局を**プリセットチャンネル**または**周波数**から選びます
受信時間	時報を受信する**時間**を設定します（1 時間単位）

4 ▲/▼ で「設定完了」を選び、▶決定 を押す

5 タイマー を押して、設定を終了する

時報設定を ON にすると、画面に T が表示されます。

6 電源⏻/I を押して、本機の電源を切る

設定時間に本機の電源が入っていると、時報設定は働きません。

お知らせ
- 時報設定で修正できる範囲は、時報の±約 2 分です。
- 設定した周波数の放送に雑音が入ると、正しく時報の受信ができないことがあります。

聴きたいところから再生する

時間を指定して再生する（時間指定サーチ）

指定した時間から再生することができます。

IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P.10）

1 **メニュー を押す**（再生中の場合は、手順 ❶ のあと手順 ❸ へ）

2 **▲/▼ で「再生設定」を選び、▶決定 を押す**

3 **▲/▼ で「時間指定サーチ」を選び、▶決定 を押す**

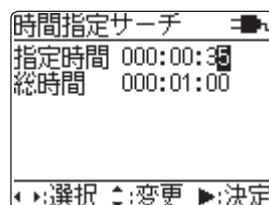
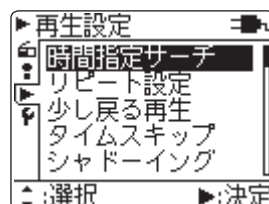
4 **再生開始時間を設定する**

「指定時間」の数値を変更して開始時間を設定します。

⏮/⏭ で 000:00:00（時間 : 分 : 秒）を選び、▲/▼ で数値を変更します。

5 **▶決定 を押す**

指定した時間から再生されます。

設定画面を閉じるには メニュー を押す。

一定の間隔でスキップする（タイムスキップ）

再生時のスキップ操作（P.15）で、設定された時間をとび越す機能です。
短いフレーズを繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりするときに便利です。

IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P.10）

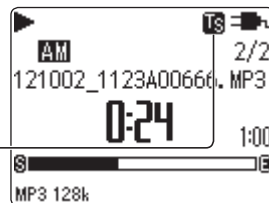
1 **メニュー を押す**（再生中の場合は、手順 ❶ のあと手順 ❸ へ）

2 **▲/▼ で「再生設定」を選び、▶決定 を押す**

3 **▲/▼ で「タイムスキップ」を選び、▶決定 を押す**

4 **▲/▼ で時間を選び、▶決定 を押す**

スキップ間隔：**OFF、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分**
（お買い上げ時は **“OFF”**）

TS が表示されます。

設定画面を閉じるには メニュー を押す。

■タイムスキップを行うには

再生中に ⏮/⏭ を押す

お知らせ

● 設定したスキップ間隔より近い位置に、ファイルの先頭やインデックス（P.28）がある場合は、その位置にスキップします。

応用 聴きたいところ（ファイルの位置）を設定する

ファイルにインデックス（ファイル上の位置情報）を付けると、再生時のスキップ操作（P.15）でその位置にとび越すことができます。

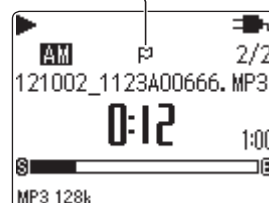
インデックスを付ける

MUSIC フォルダ、他機器のフォルダ（）、RECYCLE（）フォルダ内のファイルには、インデックスを付けることができません。また、録音タイマー（P.22）やおめざめタイマー（P.23）の動作中もインデックスを付けることができません。

録音中や録音一時停止中、または再生中の状態にしておく。（P.14、15）

1 インデックスを付けたい位置で 3（インデックス）を押す

と「インデックス記録中」が表示されます。

インデックスを付けたファイルには が表示されます。

お知らせ

- インデックスは、
  - 1 ファイルにつき最大 36 か所付けることができます。
  - ファイル分割をすると消去されます。
  - 電池残量が （点滅）のときは、付けることができません。
- インデックスの前後約 2 秒未満は、そのインデックスにスキップすることはできません。

インデックスを消去する

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）
消去したいインデックス付きファイルを選んでおく。

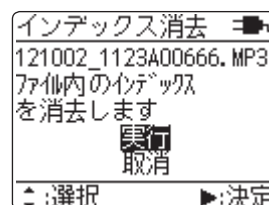
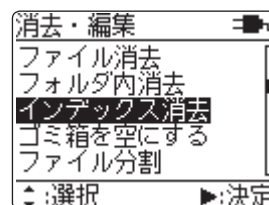
1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「インデックス消去」を選び、▶（決定）を押す

3 ▲/▼ で「実行」を選び、▶（決定）を押す

ファイルに付けたインデックスがすべて消去されます。

消去・編集
ファイル消去
フォルダ内消去
インデックス消去
ゴミ箱を空にする
ファイル分割
:選択 ▶:決定

消去・編集画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

- インデックスを消去しても、ファイルは消去されません。
- 複数のインデックスを付けた場合、個別に消去することはできません。

応用

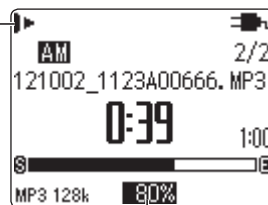
語学学習におすすめの再生機能

再生速度を変更する

再生速度を遅聞き 0.5 倍速（50%）から早聞き 2 倍速（200%）まで 21 段階で調整できます。

IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P.10）

1

を回す

■変更を解除するには

遅聞き・早聞き再生中に、▶（決定）を押す

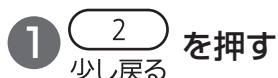
お知らせ

- 1 倍速よりも速い場合は 10% ずつ、1 倍速よりも遅い場合は 5% ずつ、再生速度を調整できます。
- おめざめタイマー（P.23）の動作中や、フォルダ頭出し（P.42）の再生時は速度を調整できません。
- 再生速度を変更中にノイズキャンセルの設定（P.31）を行っても、再生速度変更を解除するまで働きません。

少し戻る再生

ファイル再生中に少し戻って聞き直す機能です。語学学習や聞き逃した場合に便利です。

IC レコーダーモードで再生状態にしておく。（P.10）

1 [2 少し戻る] **を押す**

ボタンを押すたびに、設定した秒数分（下記）、前に戻って再生します。

お知らせ

- 再生中のファイルの先頭まで戻ることができます。ファイルをまたいで戻ることはできません。

少し戻る時間を変更する

IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P.10）

1 [メニュー] **を押す**（再生中の場合は手順 ❶ のあと手順 ❸ へ）

2 **▲/▼ で「再生設定」を選び、▶（決定） を押す**

3 **▲/▼ で「少し戻る再生」を選び、▶（決定） を押す**

4 **▲/▼ で戻る秒数を選び、▶（決定） を押す**

戻る秒数：**1 秒～ 5 秒**（1 秒単位）（お買い上げ時は **“3 秒”**）

設定画面を閉じるには [メニュー] **を押す。**

応用

語学学習におすすめの再生機能（続き）

繰り返し再生（リピート設定）

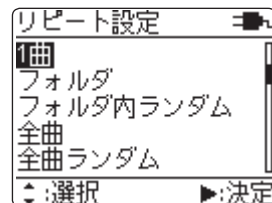
ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P.10)

1 メニュー を押す（再生中の場合は、手順 1 のあと手順 3 へ）

2 ▲/▼ で「再生設定」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「リピート設定」を選び、▶決定 を押す

4 ▲/▼ でリピート再生の種類を選び、▶決定 を押す

リピート設定
1曲
フォルダ
フォルダ内ランダム
全曲
全曲ランダム
⇕:選択 ▶:決定

OFF（何も表示されません）	1つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまでを続けて再生して停止します。（お買い上げ時は“OFF”）
1曲	1つのファイルを繰り返して再生します。
フォルダ	1つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。
フォルダ内ランダム	1つのフォルダ内のファイルを順不同で繰り返して再生します。
全曲※1	MUSICフォルダまたは他機器のフォルダ（▭）の場合、フォルダ内の全ファイル※2を繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、「（フォルダ）」と同じ動作になります。
全曲ランダム※1	MUSICフォルダまたは他機器のフォルダ（▭）の場合、フォルダ内の全ファイル※2を順不同で繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、「（フォルダ内ランダム）」と同じ動作になります。

※1 SDカード内のMUSICフォルダまたは他機器のフォルダ（▭）の場合、SDカードの「書き込み禁止スイッチ」のLOCKを解除してください。
※2 認識するファイル数は、MUSICフォルダ、他機器のフォルダ（▭）それぞれ最大3,000ファイルです。

設定画面を閉じるには メニュー を押す。

お知らせ

● 「フォルダ内ランダム」「全曲ランダム」を選択している場合、再生中は前のファイルにはスキップ（P.15）できません。

A-Bリピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

ICレコーダーモードで再生状態にしておく。(P.10)

1 再生中に 1 A-B を押す

始点（A）が設定され、A- と B（点滅）が表示されます。

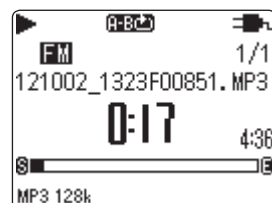
2 終点（B）で 1 A-B を押す

A-B に変わり、A-Bリピート再生が始まります。

■A-Bリピート再生を解除するには

再生中に 1（A-B）か ⏮/⏭、または ■（停止／戻る）を押す

お知らせ

● 始点（A）と終点（B）の間が約2秒以下の場合、A-Bリピート再生はできません。
● 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）としてA-Bリピート再生が開始されます。
● ファイルをまたいでのA-Bリピート再生はできません。

シャドーイング再生

シャドーイングとは、音声を聞きながら、聞こえた音をほぼ同時に繰り返して言う学習方法です。本機のシャドーイング機能を使うと、A-B リピート区間を通常音量と無音または小音量で、交互に繰り返し再生します。語学学習などに便利です。

IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P.10）

1. [メニュー] **を押す**（再生中の場合は、手順 ❶ のあと手順 ❸ へ）
2. **▲/▼ で「再生設定」を選び、▶決定 を押す**
3. **▲/▼ で「シャドーイング」を選び、▶決定 を押す**
4. **▲/▼ でシャドーイング再生の設定を選び、▶決定 を押す**

   シャドーイング再生：**OFF**、**ON（無音）**、**ON（小音量）**※（お買い上げ時は **"OFF"**）
   ※ 通常音量の約 3 分の 1 の音量で再生します。

が表示されます。

設定画面を閉じるには [メニュー] を押す。

■シャドーイング再生を行うには

A-B リピート再生を行う（P.30）

- A-B リピート区間を通常音量と無音または小音量で、交互に繰り返し再生します。

■シャドーイング再生の音量を調整するには

通常音量と小音量時の音量は、別々に調整することができます。

- A-B リピート再生を解除したり、再生中にシャドーイング再生の設定を切り替えると、小音量時は通常音量の約 3 分の 1 の音量で再生します。

再生中のノイズを軽減する（ノイズキャンセル）

再生中のノイズを軽減し、音を聞き取りやすくします。

IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P.10）

1. [メニュー] **を押す**（再生中の場合は、手順 ❶ のあと手順 ❸ へ）
2. **▲/▼ で「再生設定」を選び、▶決定 を押す**
3. **▲/▼ で「ノイズキャンセル」を選び、▶決定 を押す**
4. **▲/▼ で強さを選び、▶決定 を押す**

   強さ：**OFF**、**弱**、**強**（お買い上げ時は **"OFF"**）

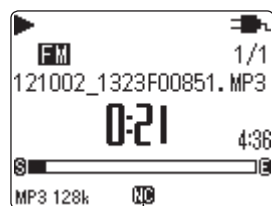
設定画面を閉じるには [メニュー] を押す。

再生時、NC が表示されます。

お知らせ

- 再生速度を変更している場合は、ノイズキャンセルは働きません。
- 音源によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 「弱」または「強」に設定した場合、再生音質は通常音質と異なって聞こえる場合があります。

応用

応用 SD カード（別売）を使用する

本機は内蔵メモリーのほかに SD カード※を使用することができます。新しい SD カードは本機でフォーマット（P.47）してからお使いください。

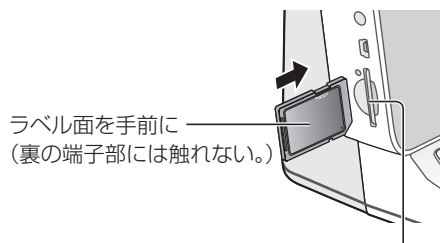
※ 本書では SD / SDHC カード、microSD / microSDHC カードを総称して、「SD カード」と表記しています。
また、SDXC カードには対応していません。

- SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済みの SD カードについては、当社サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

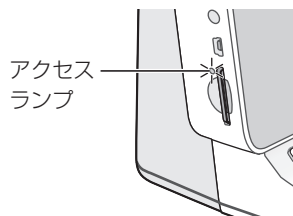
SD カードを入れる / 取り出す

【入れるとき】

1 SD カード挿入部に、SD カードをカチっと音がするまで差し込む

microSD カードを使用する場合は、専用アダプターに装着してから SD カード挿入部に挿入してください。

【取り出すとき】

SD カードでの録音、再生（タイマー動作含む）およびアクセスランプ点滅中に、SD カードを絶対に取り出さないでください。
SD カードが壊れる可能性があります。
アクセスランプが消灯してから取り出してください。

アクセス
ランプ

1 SD カードを軽く押す

2 少し出てきた SD カードをゆっくり引き抜く

SD カードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーに切り替わります。

お願い

● microSD カードを挿入した場合は、専用アダプターとともに取り出してください。（microSD カードだけを抜かないでください。）

メモリーを切り替える

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）

1 メニュー を押す

2 ▲/▼ で「共通設定」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「メモリー切替」を選び、▶決定 を押す

4 ▲/▼ で切り替えるメモリーを選び、▶決定 を押す

SD カードの場合、SD が表示されます。

お知らせ

● フォルダ選択画面からもメモリーを切り替えることができます。（P.33）
● SD カード内のファイル選択や保存をする場合は、メモリーを SD に切り替えてください。

応用 ファイルやフォルダの選びかた

ファイルやフォルダについては、「録音した音源の保存先」(P.16)をご覧ください。

■選びかたの種類

フォルダ選択	フォルダ一覧を表示します。
リスト選択	ツリー構造でフォルダ、ファイルをリスト表示します。
他機器のフォルダ	本機以外で作成したファイルをリスト表示します。

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P.10)

1 ▼(検索)を押す

2 ▲/▼で選択の種類を選び、▶決定を押す

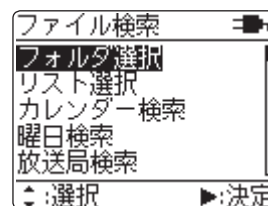
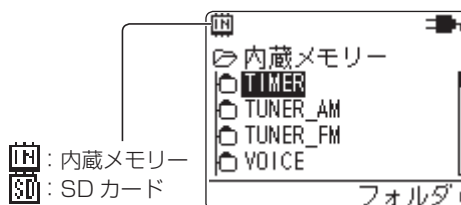
<「フォルダ選択」を選んだ場合>
フォルダ選択画面が表示されます。
① ▲または ⏮/⏭ で「内蔵メモリー」または「SD」を選び、▶(決定)を押す
② ▲/▼または ⏮/⏭ でフォルダを選び、▶(決定)を押す

「M」や「📁」のサブフォルダは、下記の「リスト選択」から選んでください。

【フォルダ選択画面】

<「リスト選択」を選んだ場合>
選択中のメモリーのリスト選択画面が表示されます。
① ▲/▼でフォルダを選び、▶(決定)を押す
「TIMER」を選んだ場合、
さらに「T1 ～ T20」を選びます。

【リスト選択画面】

<「他機器のフォルダ」を選んだ場合>
本機以外で作成したファイルがリスト表示されます。

3 ▲/▼または ⏮/⏭ でファイルを選び、▶決定を押す

選択画面を閉じるには ■(停止 / 戻る)を押す。

■本機のフォルダ表示について

フォルダ選択	T1 ～ T20	AM	FM	V	M	🗑	📁
リスト選択	TIMER※, T1 ～ T20	TUNER_AM※	TUNER_FM※	VOICE※	MUSIC	RECYCLE	他機器の フォルダ

※ SD カードの場合はフォルダ名の後ろに「_SD」が付きます。

お知らせ
- フォルダ選択画面で SD カードを入れているのに「SD」が表示されない場合は、本機が SD カードを認識していません。電源を切り、SD カードを入れ直してください。(P.32)
- 選んだフォルダにファイルがない場合、「No File」と表示されます。

応用

応用 ファイルを探す（ファイル検索機能）

ファイル検索機能を使って、本機で録音したファイルを探すことができます。
MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（ ）、RECYCLE（ ）フォルダ内のファイルは検索できません。

■ファイル検索の種類

カレンダー検索	録音ファイルを日付で絞り込んでリスト表示します。
曜日検索	録音ファイルを曜日で絞り込んでリスト表示します。
放送局検索	ラジオ録音ファイルを録音元の放送局別にリスト表示します。
最近録音ファイル	録音ファイルを日付の新しい順にリスト表示します。（20 件）

ファイル検索を行う

選択中のメモリー内を検索します。あらかじめ、内蔵メモリーか SD カードを選択しておいてください。
メモリーを切り替えるには、ファイル検索画面で「メモリー切替」を選んでください。

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）

1 ▼（検索）を押す

2 ▲/▼ で検索の種類を選び、▶決定 を押す

<「カレンダー検索」を選んだ場合>
▲/▼、⏮/⏭ で録音した日を選び、▶（決定）を押す
録音したファイルがある日付にのみカーソルが移動します。

<「曜日検索」を選んだ場合>
▲/▼ で曜日を選び、▶（決定）を押す
曜日は 1 つだけ選択できます。

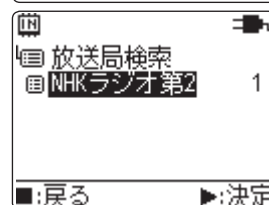
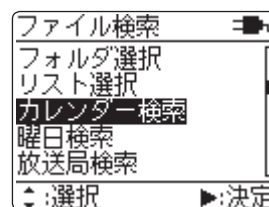
<「放送局検索」を選んだ場合>
①▲/▼ で AM、FM、TIMER から選び、▶（決定）を押す
②▲/▼ で放送局または周波数を選び、▶（決定）を押す
選択した放送局の録音した日付の新しい順にファイルを表示されます。

<「最近録音ファイル」を選んだ場合>
「ファイル検索中」と表示され、日付の新しい順にファイルをリスト表示されます。

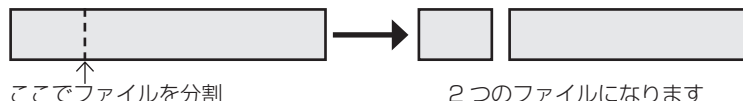
3 ▲/▼ でファイルを選び、▶決定 を押す

検索画面を閉じるには ■（停止 / 戻る）を押す。

お知らせ
- 選んだフォルダにファイルがない場合、「ファイルがありません」と表示されます。
- メモリーを切り替えるには、「メモリーを切り替える」（P.32）やフォルダ選択画面（P.33）からもできます。

応用 ファイルを編集する

本機で録音したファイルをいろいろな方法で編集することができます。

ファイルを分割する

1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。

IC レコーダーモードにしておく。（P.10）
分割したいファイルを再生しておく。（P.33）

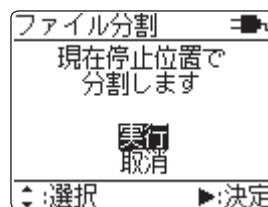
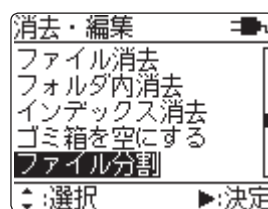
1. 分割したい位置で 停止/戻る［■］を押す
2. ［編集］を押す
3. ▲/▼ で「ファイル分割」を選び、▶決定 を押す
4. ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

   動作表示ランプが点滅します。
   「ファイル分割完了」が表示され、ファイル分割が完了します。

■分割されたファイルの名前について

「ファイル名について」（P.50）をご覧ください。

消去・編集画面を閉じるには ［編集］ を押す。

応用

お知らせ

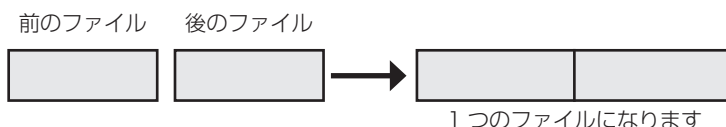
- MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（）、RECYCLE（）フォルダ内のファイルは、分割できません。
- ファイルを分割するには、約 2 秒以上のファイルの長さが必要です。
- ファイルの先頭ではファイルの分割ができません。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。（P.50）
- インデックスを付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。（P.28）
- 内蔵メモリーや SD カードの空き容量がない場合や、すでに最大ファイル数（P.16）が録音されているフォルダでは、ファイル分割はできません。

応用 ファイルを編集する（続き）

ファイルを結合する

本機で録音した 2 つのファイルを 1 つのファイルに結合することができます。

前のファイル　後のファイル

1 つのファイルになります

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「ファイル結合」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「前のファイル」を選び、▶決定 を押す

4 ▲/▼ で前のファイルを選び、▶決定 を押す

フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮ を押すとフォルダ階層を移動できます。

ファイル結合
>>前のファイル
の末尾に
>>後のファイル
を結合します
>>次へ
⇕:選択　▶:決定

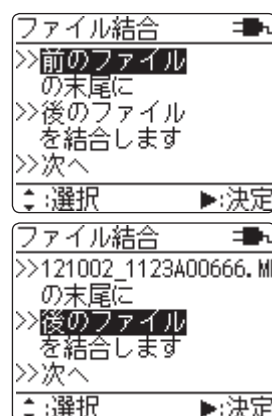
5 ▲/▼ で「後のファイル」を選び、▶決定 を押す

6 ▲/▼ で後のファイルを選び、▶決定 を押す

ファイル結合
>>121002_1123A00666.MI
の末尾に
>>後のファイル
を結合します
>>次へ
⇕:選択　▶:決定

7 ▲/▼ で「次へ」を選び、▶決定 を押す

8 ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

結合中は動作表示ランプが点滅します。
結合をやめるには、■（停止 / 戻る）を押します。

消去・編集画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

- 結合したファイルは元に戻せません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- インデックスを付けたファイルを結合すると、インデックスは消去されます。
- 結合したファイルは、前のファイルが保存されていたフォルダに保存されます。
- **以下の場合は、結合できません。**
  - MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（▭）、RECYCLE（🗑）フォルダ内のファイル
  - 電池残量表示が、▭（点滅）または ▭ の場合
  - 内蔵メモリーのファイルと SD カードのファイルの結合
  - 結合後のファイルサイズが合計 2 GB 以上になる場合
  - 「後ろのファイル」のサイズ以上の空き容量がない場合
  - 録音元の放送局が異なるラジオ録音ファイルの場合
  - 2 つのファイルの録音音質（ビットレート）やサンプリング周波数※が異なる場合

※ 録音するラジオ放送局によって録音音質が同じでも、サンプリング周波数が異なる場合があります。ファイルのサンプリング周波数は本機では表示されません。パソコンなどでファイル情報を見ると確認できます。

ファイルをコピーする

内蔵メモリーと SD カードの同一フォルダ間でファイルのコピーを行うことができます。

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P.10)
コピーしたいファイルを選んでおく。(P.33)

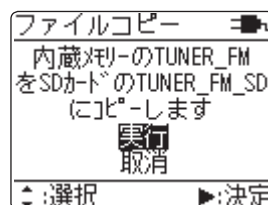
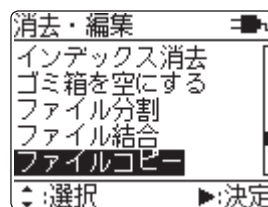
1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「ファイルコピー」を選び、決定 を押す

3 ▲/▼ でコピーの種類を選び、決定 を押す

1 ファイルコピー：選んだファイルのみコピー
全ファイルコピー：選んだファイルが入っているフォルダ内の全ファイルをコピー

4 ▲/▼ で「実行」を選び、決定 を押す

動作表示ランプが点滅します。
コピーをやめるには、■（停止 / 戻る）を押します。

消去・編集画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

● **以下の場合はコピーできません。**
- MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（ ）、RECYCLE（ ）フォルダ内のファイル
- 電池残量表示が、 （点滅）または の場合
- コピー先にコピーするファイル以上の空き容量がない場合
- 同一メモリー間の場合
- コピー先のフォルダ内のファイルが最大数（P.16）に達している場合

ファイルを移動する

同一メモリーの TIMER（T1 ～ T20）フォルダ間でファイル移動を行うことができます。

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P.10)
TIMER（T1 ～ T20）フォルダの移動したいファイルを選んでおく。(P.33)

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「ファイル移動」を選び、決定 を押す

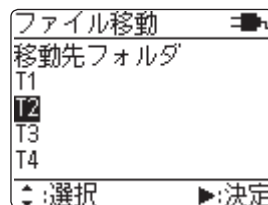
3 ▲/▼ で移動の種類を選び、決定 を押す

1 ファイル移動：選んだファイルのみ移動
全ファイル移動：選んだファイルが入っているフォルダ内の全ファイルを移動

ファイル移動
移動先フォルダ
T1
T2
T3
T4
:選択
:決定

4 ▲/▼ で移動先フォルダ（T1 ～ T20）を選び、決定 を押す

5 ▲/▼ で「実行」を選び、決定 を押す

動作表示ランプが点滅します。
移動をやめるには、■（停止 / 戻る）を押します。

消去・編集画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

● **以下の場合は移動できません。**
- 電池残量表示が、 （点滅）または の場合
- 移動先の TIMER（T1 ～ T20）のフォルダ内のファイルが最大数（99 ファイル）に達している場合

応用

応用

ファイルを消去する

誤消去防止のため、必ずファイル内容の確認や電池残量が十分あることを確かめてから操作を行ってください。

- ゴミ箱機能 ON の状態でファイルを消去すると、ファイルは RECYCLE（🗑）フォルダに移動します。
- ゴミ箱機能を OFF の状態でファイルを消去すると、RECYCLE（🗑）フォルダに移動せず完全に消去されます。
- MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（▭）のファイルは、ゴミ箱機能の設定に関わらず、完全に消去されます。

ファイルを一件消去する

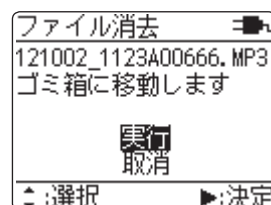
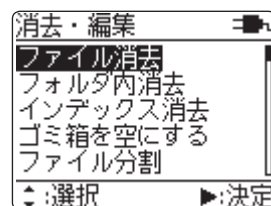
IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）
消去したいファイルを選んでおく。（P.33）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「ファイル消去」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

消去中は、動作表示ランプが点灯し、「消去実行中」と表示されます。
消去の完了までに数分かかる場合があります。

消去・編集画面を閉じるには 編集 を押す。

ファイルを全件消去する

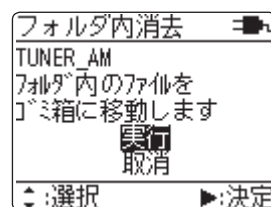
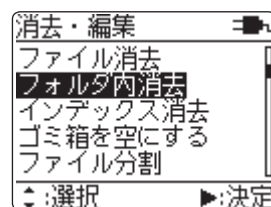
IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）
消去したいフォルダを選んでおく。（P.33）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「フォルダ内消去」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

消去中は、動作表示ランプが点灯し、「消去実行中」と表示されます。
消去の完了までに数分かかる場合があります。

消去・編集画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

- リスト選択画面（P.33）で、ファイルを選び 編集 を押しても、ファイルの消去や編集を行うことができます。
- ファイル消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。（P.50）
- 本機のフォルダ（“VOICE”や“TUNER_AM”など）の消去はできません。
- パソコンから転送した読み取り専用の MP3 音楽ファイルや本機で再生できないファイル、パソコンで作成した MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（▭）のサブフォルダは本機では消去できません。パソコンで消去してください。

ゴミ箱機能を使う

初期設定は ON です。ゴミ箱機能については、P.47 をご覧ください。

RECYCLE（皿）フォルダのファイルを元のフォルダに戻す

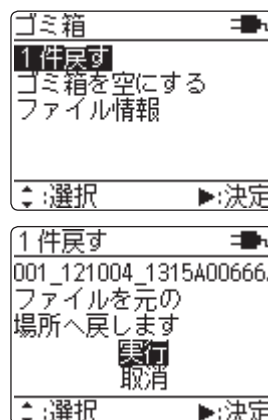
IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）
RECYCLE（皿）フォルダ内の元に戻したいファイルを選んでおく。（P.33）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「1 件戻す」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

動作表示ランプが点滅し、選択したファイルが元のフォルダの末尾に戻ります。

ゴミ箱画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

● 「＊がいっぱいです。ファイルを戻せません」と表示された場合は、＊フォルダが録音可能ファイル数（P.16）に達しています。そのフォルダ内のファイルを消去し、再度操作してください。

RECYCLE（皿）フォルダを空にする

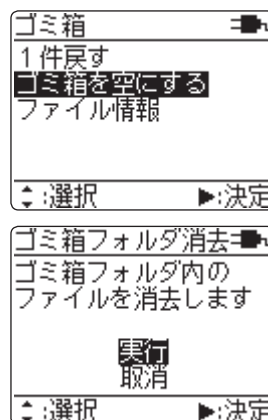
IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）
RECYCLE（皿）フォルダを選んでおく。（P.33）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「ゴミ箱を空にする」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

動作表示ランプが点滅し、RECYCLE（皿）フォルダが空になります。

ゴミ箱画面を閉じるには 編集 を押す。

お知らせ

● ゴミ箱機能が ON のときは、ファイルを消去しても録音残り時間（空き容量）は増えません。録音残り時間を増やすためには、RECYCLE（皿）フォルダを空にして、完全に消去してください。

応用 本機で音楽を聴く（プレイリスト）

パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。（P.49）

1 MUSIC フォルダから再生したいファイルを選び、▶決定 を押す

フォルダやファイルの選択方法は、P.33 をご覧ください。
画面表示については、P.7 をご覧ください。

お知らせ

- MUSIC フォルダでは、1 つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が少なくなります。（P.50）
  MUSIC フォルダ内にサブフォルダがあるときは、第 2 階層までが再生対象になります。
- MP3 ファイルと当社製 IC レコーダーで録音した PCM（WAV）ファイルのみ再生できますが、著作権保護されたファイルは再生できません。また、WMA ファイル再生には対応していません。
- ファイルの楽曲情報に本機で読み取れないデータがあると、曲名やアーティスト名などが正しく表示されないことがあります。
- 容量 2 GB を超えるファイルは再生できません。

• MP3：MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種

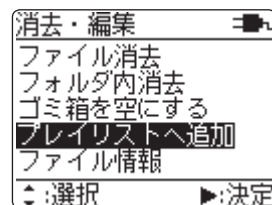
プレイリストにお気に入りの曲を登録する

MUSIC フォルダ内の曲をプレイリストに登録し、お好みの順番で再生することができます。

MUSIC フォルダまたは他機器のフォルダ（▣）からプレイリストに登録したい曲を選択しておく。（P.33）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「プレイリストへ追加」を選び、▶決定 を押す

3 ⏮/⏭ で登録したいプレイリスト（1 ～ 5）を選び、▶決定 を押す

お願い

- プレイリストは MUSIC フォルダ内の「PLAYLIST」フォルダの中にあり、「PLAYLIST1.M3U」～「PLAYLIST5.M3U」と表示されます。このファイルはパソコンで編集しないでください。

お知らせ

- 内蔵メモリーと SD カード、それぞれ５つのプレイリストに登録できます。
- 1 つのプレイリストに 99 ファイルまで登録できます。

プレイリストに登録した曲を再生する

1 リスト選択画面でプレイリストを選ぶ（P.33）

2 ▲/▼ で再生したいファイルを選び、▶決定 を押す

プレイリストの曲順を変更する

MUSIC フォルダのプレイリストから変更したいファイルを選んでおく。（P.33）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「曲順変更」を選び、▶決定 を押す

選んだファイル名の左に ➡ が付きます。

3 ▲/▼ で ➡ が付いているファイルを好みの位置に移動し、▶決定 を押す

曲順が変更されます。

プレイリストに登録した曲を解除する

MUSIC フォルダのプレイリストから消去したいファイルを選んでおく。（P.33）

1 編集 を押す

2 ▲/▼ で「一件消去」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「実行」を選び、▶決定 を押す

■登録されている曲をすべて解除するには

上記手順 ❷ で「全件消去」を選ぶ

お知らせ

- プレイリストに登録したファイルを解除しても、ファイル自体は消去されません。
- ファイル自体が消去されている場合、再生経過時間と総再生時間の表示が「-:--」となります。そのファイルを再生すると、約 2 秒で次のファイルにスキップします。
- 登録元のファイルを消去した場合は、プレイリストに登録したファイルも解除してください。

本機で音楽を聴く（プレイリスト）（続き）

フォルダ頭出し機能

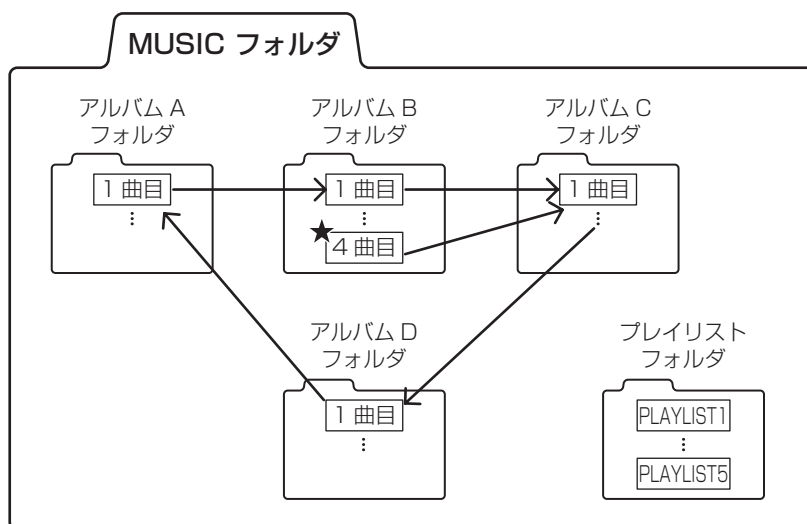
MUSIC フォルダまたは他機器のフォルダ（[フォルダ]）内のファイル再生中に、フォルダ内のサブフォルダを簡単に切り替えることができます。
プレイリストの再生中は、フォルダ頭出しはできません。

MUSIC フォルダ内のファイルを再生しておく。（P.40）

1 ▲ を押す

2 [頭出し] 表示中に、⏮/⏭ を押す

前のフォルダまたは次のフォルダの 1 曲目を頭出しします。

（例）

例えば「アルバム B フォルダの4曲目（★）を再生中にフォルダ頭出しを行うと、⏮/⏭ を押すたびに、MUSIC フォルダ内のサブフォルダ（アルバム A ～ D）の 1 曲目を順番に再生します。
（プレイリストフォルダは除く）

■フォルダ頭出し機能を解除するには

下記のいずれかの方法で、設定を解除することができます。
解除すると ⏮/⏭ でファイルのスキップができるようになります。

- 再度 ▲ を押す
- ▶（決定）を押す
- ■（停止 / 戻る）を押す（再生が終了します。）

お知らせ

● フォルダ頭出し（[頭出し]）表示中は、早送り / 早戻し（P.15）や再生速度の変更（P.29）ができません。

応用 外部マイクや外部機器を活用する

本機のマイク / 外部入力端子に外部機器を接続して、スピーカーから音を出力したり、録音することができます。

外部マイクを接続してスピーカー再生（マイク拡声）する / 録音する

ICレコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）

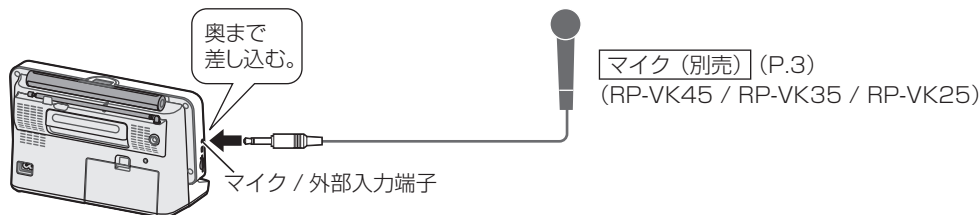
❶ メニュー を押す

❷ ▲/▼ で「録音設定」を選び、▶決定 を押す

❸ ▲/▼ で「外部入力設定」を選び、▶決定 を押す

❹ ▲/▼ で「外部マイク（MIC）」を選び、▶決定 を押す

❺ メニュー を押して、設定画面を閉じる

❻ 外部マイクを接続する

❼ <スピーカー再生（マイク拡声）するとき>

停止/戻る ■ を約 1 秒間押したままにする

❽ 外部マイクに向かって話す

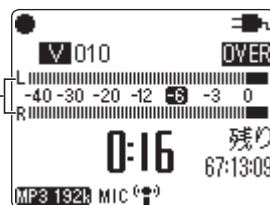
スピーカーから音が出力されます。

❼ <録音するとき>

○録音 ● を押す（録音開始）

❽ 外部マイクに向かって話す

スピーカーから音が出力されます。

レベルメーター（OVER が表示される場合は、-6 程度になるまで外部マイクと口元の距離を調整してください。）

■ハウリングが起こったときは

まず、マイクをスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。改善されない場合は、下記手順でマイク感度設定を行ってください。

①上記手順 ❶ ❷ のあと、手順 ❸ で「マイク感度」を選び、▶（決定）を押す

②▲/▼ で「低」を選び、▶（決定）を押す（お買い上げ時は **"高"**）

スピーカー再生（マイク拡声）の場合、手順 ❼ で メニュー を押しても、同様の設定ができます。

スピーカー再生（マイク拡声）や録音をやめるには、■（停止 / 戻る）を押す。

お知らせ

- マイク録音の場合、モノラル録音になります。
- 推奨マイク（P.3）以外をご使用になると、スピーカー再生や録音ができない場合があります。
- 接続する機器の説明書もお読みください。

外部マイクや外部機器を活用する（続き）

外部機器を接続してスピーカー再生する / 録音する

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）
外部機器の電源を切っておく。

1 P.43　手順 ❶ ～ ❸ を行う

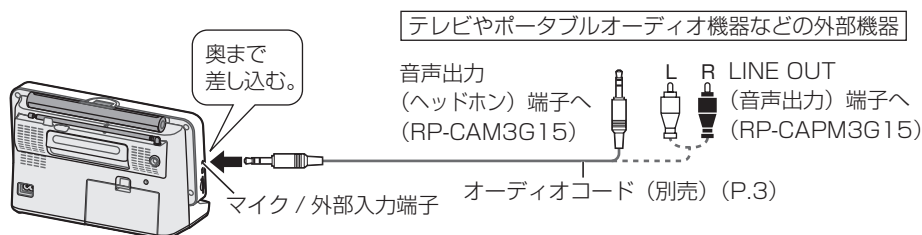
2 ▲/▼ で「外部入力（LINE)」を選び、▶決定 を押す

3 ▲/▼ で「外部入力レベル設定」選び、▶決定 を押す

4 ▲/▼ で「高（ヘッドホン)」または「低（ライン：ポータブル)」を選び、▶決定 を押す

高（ヘッドホン)：ヘッドホン出力端子と接続するとき（お買い上げ時は“**高（ヘッドホン)**”）
低（ライン：ポータブル)：ポータブル機器のライン出力端子と接続するとき

5 メニュー を押して、設定画面を閉じる

6 外部機器を接続する

7 <スピーカー再生するとき>

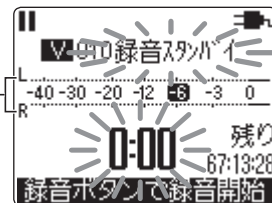
停止/戻る ■ を約 1 秒間押したままにする

メニュー を押すと、外部入力レベル設定ができます。

7 <録音するとき>
（すぐに録音したい場合は、手順 ❼ の ② へ）

① 録音 ● を約 1 秒間押したままにする

録音スタンバイ画面になります。

レベルメーター
（OVER が表示される場合は、-6 程度になるまで外部機器の音を調整してください。）

メニュー を押すと、外部入力レベル設定とシンクロ録音（P.45）の設定ができます。

② 録音 ● を押す（録音開始）

録音操作については P.14 をご覧ください。

8 外部機器を再生する

スピーカーから音が出力されます。

スピーカー再生や録音をやめるには、■（停止 / 戻る）を押す。

お知らせ

● 接続する機器の説明書もお読みください。

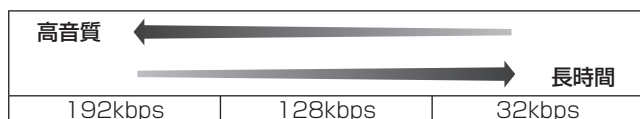
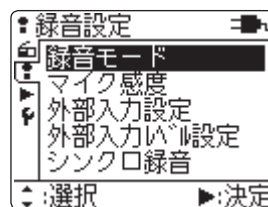
外部機器からの録音音質を設定する

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）

❶ メニュー を押す

❷ ▲/▼ で「録音設定」を選び、▶決定 を押す

❸ ▲/▼ で「録音モード」を選び、▶決定 を押す

❹ ▲/▼ で録音モードを選び、▶決定 を押す

（お買い上げ時は **“192kbps”**）
録音モードが“32kbps”の場合、モノラル録音になります。

設定画面を閉じるには メニュー を押す。

シンクロ録音機能

曲間などの無音部分を利用して、1 曲目、2 曲目でファイルを分けて録音する機能です。外部機器からの音を検知すると自動的に録音を開始し、約 2 秒以上の無音を検知すると録音を一時停止します。再び音を検知すると録音を再開します。

IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P.10）

❶ メニュー を押す

❷ ▲/▼ で「録音設定」を選び、▶決定 を押す

❸ ▲/▼ で「シンクロ録音」を選び、▶決定 を押す

❹ ▲/▼ で「ON（自動停止）」または「ON（手動停止）」を選び、▶決定 を押す

OFF：シンクロ録音機能を使わない（お買い上げ時は **“OFF”**）
ON（自動停止）：無音を約 2 秒以上検知すると録音を一時停止し、さらに無音が約 15 秒以上続くと停止する
ON（手動停止）：無音が続いても ■（停止 / 戻る）を押すまで録音一時停止（待機）を続ける

ON に設定した場合、SYNC が表示されます。

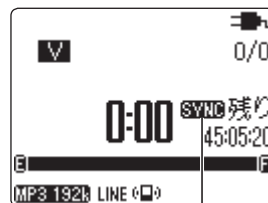
設定画面を閉じるには メニュー を押す。

■シンクロ録音を行うには

上記設定後、P.44 手順 ❶〜❽ を行う

お知らせ

- 外部入力設定が「外部入力（LINE）」の場合のみ有効です。
- 外部機器のヘッドホン出力端子に接続している場合、シンクロ録音が正しく機能しないことがあります。
- 曲の先頭が切れて録音される場合は、シンクロ録音機能を OFF にしてください。
- 録音タイマーで外部入力（LINE）の場合、シンクロ録音はできません。
- 約 2 秒以上の無音を検出できない場合や、外部機器の状態によっては、シンクロ録音ができない場合があります。

応用 共通設定

録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の設定方法

（■）（停止 / 戻る）を押して、停止状態にしておく。

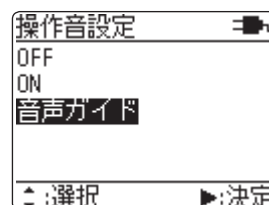
①（メニュー）を押す
②▲/▼ で「共通設定」を選び、▶（決定）を押す
③▲/▼ で設定項目を選び、▶（決定）を押す
④▲/▼ で設定項目を変更し、▶（決定）を押す

設定画面を閉じるには（メニュー）を押す。

「時計設定」（P.11）、「メモリー切替」（P.32）については、それぞれのページをご覧ください。

操作音設定（音声ガイド）

ボタン操作時の操作音を設定します。
OFF：操作音と音声ガイドを鳴らさない　**ON**：操作音だけを鳴らす
音声ガイド：操作音と音声ガイドを鳴らす（お買い上げ時は **“音声ガイド”**）

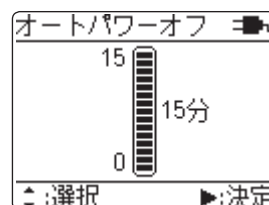
お知らせ
● ON または音声ガイドを選択した場合は、▲/▼ で音量（大・中・小）を選び、▶（決定）で決定します。（お買い上げ時は **“音量中”**）

録音 LED（録音ランプ）

録音時、録音ランプを点灯させるかどうかを設定します。
OFF：点灯させない　**ON**：点灯させる（お買い上げ時は **“ON”**）

お知らせ
● 録音 LED を OFF に設定しても、ファイル編集時などの動作表示ランプとしては点灯（点滅）します。

オートパワーオフ

停止状態で一定時間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。
電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電力の消費を防ぎます。
0 分（OFF）～ **15 分**（1 分単位）（お買い上げ時は **“15 分”**）

お知らせ
● AM/FM ラジオモードでは働きません。
● 0 分に設定するとオートパワーオフは働きません。

バックライト

ボタンを押したときのバックライトの点灯時間を設定します。
OFF（点灯しない）、**10 秒**、**30 秒**（お買い上げ時は **“30 秒”**）

お知らせ
● 電池残量が少ないと、バックライトが点灯しない場合があります。
● 以下の場合はバックライトが点灯しません。
- AM/FM ラジオ録音中
- ファイル移動、コピー、結合を実行中

コントラスト

画面のコントラスト（濃淡）を調整します。調整は 10 段階で設定できます。
1（淡）～ **10**（濃）（お買い上げ時は **“5”**）

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能を使うと、消去したファイルは RECYCLE（🗑）フォルダに移動します。RECYCLE（🗑）フォルダを空にするまでは、消去したファイルを元に戻すことができるので、誤って消去した場合にも安心です。
OFF：ゴミ箱機能を使わない　**ON**：ゴミ箱機能を使う（お買い上げ時は **“ON”**）

お知らせ

- ゴミ箱機能が OFF のときは、一度消去したファイルを元に戻すことはできません。

残量警告表示

メモリーや TIMER（T1 ～ T20）フォルダの残量が少なくなったときに警告メッセージを表示します。
OFF：表示しない　**ON：**表示する（お買い上げ時は **“ON”**）

お知らせ

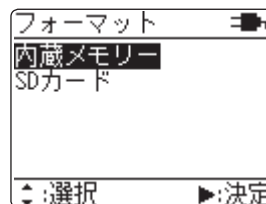
- ON に設定すると、本機の電源を入れたとき、下記の場合に警告メッセージを表示します。
  - TIMER（T1 ～ T20）フォルダのファイル数が 90 を超えた場合
  - 内蔵メモリーまたは SD カードの残量が 10% 以下になった場合
- メッセージが表示された場合、▶（決定）を押してメッセージを消したあと、ファイルの移動や不要なファイルの消去をするなど、適切な対処をしてください。

フォーマット

内蔵メモリーまたは SD カード内の全ファイルを完全に消去します。
消去したファイルは元に戻すことはできません。
①「内蔵メモリー」または「SD カード」を選び、▶（決定）を押す
②「実行」を選び ▶（決定）を押す

フォーマット
内蔵メモリー
SDカード
⇕:選択　▶:決定

お知らせ

- フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
- フォーマットすると RECYCLE（🗑）フォルダ内のファイルも消去され、元に戻すことはできません。
- フォーマット中は、取り消しができません。また、フォーマット中は電源コード、電池や SD カードを抜かないでください。
- 新しい SD カードは、まず本機でフォーマットしてからお使いください。

設定初期化

本機の設定を初期化すると、設定（時計設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。
「実行」を選んで、▶（決定）で決定すると実行します。

お知らせ

- タイマー予約や、登録したラジオの放送局も解除されますのでお気をつけください。

バージョン

本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。

パソコン パソコンと使う

本機とパソコンを接続して、内蔵メモリーや SD カードとパソコンの間でファイルを移動やコピーすることができます。

パソコンの動作環境

（2012 年 6 月現在）

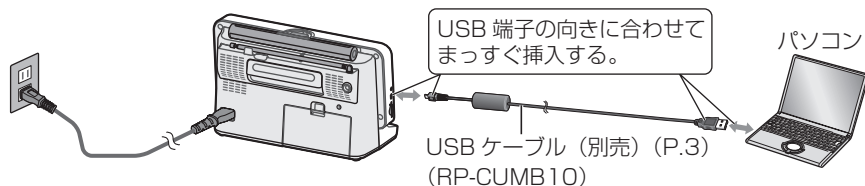
対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh	
対応 OS	• Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 2、3 • Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1、2 • Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate および Service Pack 1	プリインストールされた各日本語版
	• Mac OS X 10.2.8 − 10.7	
インターフェース	USB 端子（USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。）	

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※対応 OS 以外での動作は保証していません。
※OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。

本機をパソコンに接続する

パソコンを起動させておく。
本機の電源コードを接続した状態で、電源を切っておく。

1 USB ケーブル（別売）を本機の USB 端子に接続する

2 USB ケーブルをパソコンに接続する

パソコンとの接続時は、本機と電源コードを接続している場合のみ動作します。
パソコンとの接続中は電源コードを抜かないでください。

■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows XP: [ ]、Windows Vista/Windows 7：[ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）
取り外したあとは、本機の電源が切れます。
本機のファイルをパソコンで消去したあとなど、本機の電源を入れると「ファイル名を更新しています」と表示されます。更新の完了までに数分かかる場合があります。
データ転送中は、USB ケーブルを取り外さないでください。

お知らせ

● パソコン接続中は、本機の操作はできません。
● 次の場合は、動作を保証しません。
  • 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）
  • USB ハブや USB 延長ケーブルを使用している場合
  • 別売の RP-CUMB10 以外の USB ケーブルを使用している場合

表示は WindowsXP（OS）の場合です。

録音したファイルをパソコンに取り込む / 整理する

本機とパソコンを接続しておく。(P.48)

①パソコン側の「マイコンピュータ」を開く

本機の内蔵メモリー、SD カードが下記の名前で表示されます。

内蔵メモリー：RECORDER

SD カード：RECORDER SD（SD カードが入っていない場合や、本機でフォーマットされていない SD カードが入っている場合は、「リムーバブルディスク」）

- Windows7 は「コンピューター」、Windows Vista は「コンピュータ」から「リムーバブルディスク」を開きます。Macintosh の場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。

②内蔵メモリーまたは SD カードを開き、フォルダやファイルをパソコンにコピーまたは移動する

- **本機のフォルダ名は変更しないでください。**パソコンで本機および SD カードのフォルダ名（“VOICE”や“TUNER_AM”など）を変更すると、次に本機の電源を入れた時点で、新たにフォルダ（“VOICE”や“TUNER_AM”など）が生成されます。名前を変更したフォルダ内のファイルは本機の“他機器のフォルダ（[…]）”内に表示されます。
- 本機で録音したファイル名については、P.50 をご覧ください。

お知らせ

- **パソコンで、本機および SD カードをフォーマットしないでください。**
- パソコンの設定によっては、拡張子が .INX のファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックスは消去されます。

本機に音楽ファイルを転送する

本機とパソコンを接続しておく。(P.48)

パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。
本機で再生できる音楽ファイルは MP3 または PCM（WAV)※ファイルです。
WMA ファイル再生には対応していません。
※ 当社製 IC レコーダーで録音した PCM（WAV）ファイルのみ。

①本機の MUSIC フォルダにコピーまたは移動する

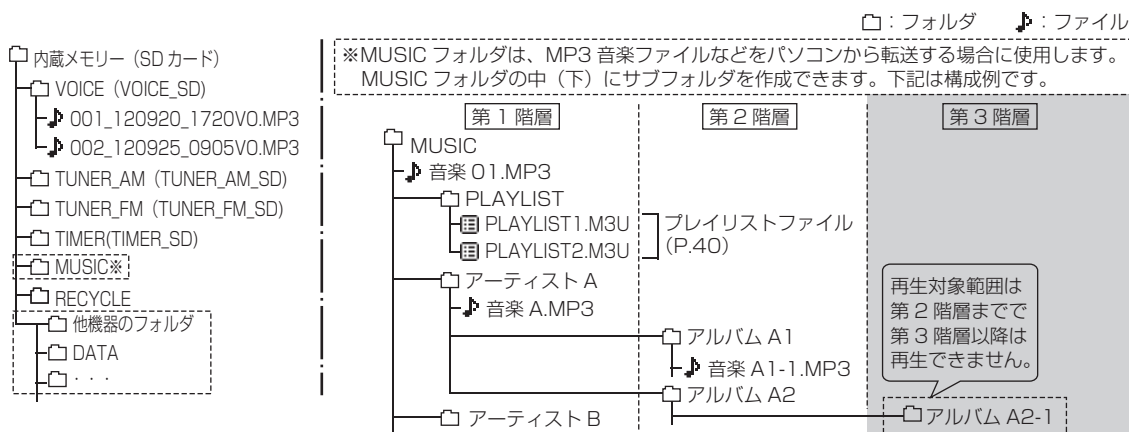
本機では、1 つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。
転送したファイルの再生については、P.40 をご覧ください。

お知らせ

- データ転送中は、**絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。

パソコン

パソコン パソコンと使う（続き）

■本機のフォルダ構造

他機器のフォルダについて

- 本機以外で作成したフォルダと本機の“DATA”フォルダが表示されます。
- １つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。
  “他機器のフォルダ”内にサブフォルダがあるときは、第 2 階層までが再生対象になります。（上記）
- 本機では表示されますが、パソコンでは表示されません。
- “DATA”フォルダは、パソコン内のデータファイルの保存にご利用ください。

●内蔵メモリーまたは SD カードの直下に転送したファイルは、本機で再生することはできません。
MUSIC フォルダに転送するか、ファイルをフォルダに入れて転送してください。

■ファイル名について

本機で録音したファイル名の付きかた :

例：2012 年 9 月 20 日 17 時 20 分 /FM フォルダ / 周波数 81.9MHz/MP3 ファイルの場合

001 _ 120920 _ 1720 F0 0819 .MP3
①　②　③　④　⑤　⑥

①ファイル番号※（001 ～ 199）
②録音した日付（年月日）
③録音した時刻（時分）
④録音元（A0：AM ラジオ、F0：FM ラジオ、V0：外部マイク / 外部入力）
⑤周波数（ラジオ録音時のみ）（AM：kHz、FM：MHz）
⑥拡張子（ファイル形式）（MP3：MP3 ファイル）

※ ファイル番号（001_）は、パソコンでのみ表示されます。本機では表示されません。
また、本機内の録音ファイルを消去 / 結合 / 分割 / コピーすると、ファイルが前詰めされたり後ろにずれるなど、ファイル番号が自動的に再割り当てされます。

●ファイル名をパソコンで変更すると、MUSIC フォルダと他機器のフォルダ以外では再生できなくなります。
上記のファイル名規則に従った名前に変更するか、MUSIC フォルダに移動して再生してください。
●パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻す場合、ファイル消去などで本機内のファイル名が変更されていると、戻そうとするファイルとファイル番号が重複し、本機で再生できない場合があります。
一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、MUSIC フォルダに転送して再生することをおすすめします。（P.49）

その他 商標 / お手入れ / 著作権について

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
  なお、本文中では ™、® マークは一部明記していません。

お手入れについて

<本機が汚れたら>

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

<故障を防ぐために>

- 本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。
- 本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

著作権について

- 放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

< SD カードの互換性>

- SD カードと SDHC カードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。
  （SD カードは SDHC カード対応機器でも使用できます。）非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。また、SDHC カードに非対応のパソコンや機器の場合はカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。
  フォーマットを実行するとデータが消去されます。元に戻すことはできませんのでフォーマットしないでください。

< SD カードや本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い>

- 内蔵メモリーや SD カードのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。
  セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと、情報が残らないように録音時間がなくなるまで録音してください。

こんな表示が出たら

「＊＊＊」は、操作などによって表示が異なります。

表示	ここをご確認ください
・再生するファイルがありません ・ファイルがありません	• フォルダ内にファイルがないときに再生や時間指定サーチ（P.27）、またはファイル消去（P.38）などをしようとした場合に表示されます。
SD カードを挿入してください	• SD カードが入っていない状態でフォーマットしようとした場合に表示されます。 • AM/FM または VOICE フォルダ内でファイルコピーを実行時、SD カードが挿入されていない場合に表示されます。（P.32）
SD カードが正しく認識されません 再挿入してください	• SD カードの認識に失敗した場合（P.32）や、SD カードが壊れている場合に表示されます。再度挿入してください。
内蔵メモリーの読み込みに失敗しました	• 本機でフォーマットしてください。それでも改善しない場合は内蔵メモリーが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。（P.47）
メモリーがいっぱいです	• 内蔵メモリーや SD カードに空き容量がない状態で録音しようとした場合に表示されます。 • ファイル結合する際、後ろのファイル以上の空き容量がない状態で結合しようとした場合に表示されます。（P.36）
ファイルがいっぱいです	• 各フォルダの録音可能なファイル数を超えて録音しようとした場合に表示されます。（P.16）
インデックスがいっぱいです	• 1 ファイルのインデックス記録可能数（最大 36）を超えてインデックスを記録しようとした場合に表示されます。（P.28）
インデックス記録できません	• インデックスを同じ位置に記録しようとした場合に表示されます。 • 電池残量表示が □（点滅）のときにインデックスを記録しようとした場合に表示されます。（P.28）
このフォルダにこれ以上のファイルを作成できません	• フォルダ内のファイルが最大数（P.16）になっているため、ファイル分割できません。不要なファイルを消去してから分割してください。（P.38）
ファイル分割に必要な空き容量が足りません	• ファイル分割するために必要な空き容量がない状態で分割した場合に表示されます。不要なファイルを消去してから分割してください。（P.38）
録音時間が短いため分割できません	• 録音時間が短いファイル（約 2 秒未満）を分割しようとした場合に表示されます。
現在の停止位置ではファイルを分割できません	• ファイル分割できない位置（ファイルの先頭や末尾付近）で分割した場合に表示されます。（P.35）
合計サイズが 2 GB を超えるため結合できません	• 結合するファイルの合計サイズが 2 GB を超える場合に表示されます。（P.36）
ファイル形式の録音音質が異なります　結合できません	• 録音音質が異なるファイルを結合しようとした場合に表示されます。（P.45）
ファイル形式が異なるため 結合できません	• AM/FM ラジオを録音したファイルと、それ以外の MP3 録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。（P.36） • 放送局の異なるラジオ録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。（P.36）
電池の残量が足りません ＊＊＊する場合は電池を交換してください	• 電池残量表示が □（点滅）または ▯ のときにファイルコピーや結合、移動などをしようとした場合に表示されます。（P.9）
移動（またはコピー）先のファイルがいっぱいです	• 移動（またはコピー）先フォルダ内のファイルが最大数（P.16）に達しているためファイル移動（またはコピー）できません。移動（またはコピー）先フォルダ内のファイルを消去するか、別のフォルダを移動（またはコピー）先に指定してください。

表示	ここをご確認ください
ゴミ箱がいっぱいです 空にしてください	• RECYCLE（🗑）フォルダ内のファイルが最大数（P.16）ある状態でファイルやフォルダの消去を行い、これ以上ゴミ箱へ移せない場合に表示されます。（P.39）
＊がいっぱいです ファイルを戻せません	• RECYCLE（🗑）フォルダからファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（＊は戻し先のフォルダ名）（P.39）
SD カードが書き込み禁止になっています　解除してください	• SD カードが書き込み禁止になっているため、SD カードでの録音や再生などの操作が完了できない場合に表示されます。
フォーマットできませんでした	• 内蔵メモリーや SD カードが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
プリセットモードでチャンネル選択し削除してください	• マニュアル選局画面でプリセット編集（削除）しようとした場合に表示されます。（P.19）
このプレイリストにこれ以上ファイルを登録できません	• 各プレイリストに登録可能なファイル数（最大 99）を超えて登録しようとした場合に表示されます。（P.40）
全てのファイルをプレイリストへ追加できませんでした	• 複数ファイルをプレイリストへ登録中に登録可能なファイル数（最大 99）を超えたため、すべてのファイルが登録できなかった場合に表示されます。（P.40）
ファイルがないためプレイリスト操作できません	• 選択したプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）にファイルが登録されていないため、プレイリストの編集操作ができません。（P.40）
PLAYLIST 以外のプレイリストファイルは編集できません	• 本機で登録したプレイリスト以外のプレイリストファイル（パソコンなどで作成）を編集しようとした場合に表示されます。
＊＊＊できません フォルダやファイル名を日本語・英数字に変更してください	• ファイル名またはフォルダ名に対応していない文字列（日本語・英語以外の文字など）が含まれているため、プレイリストに追加できません。
設定時間が重なっています ＊＊＊	• 録音タイマー、おめざめタイマー、時報設定のいずれかの設定時間が重なっている場合に表示されます。No. ＊＊が表示された場合は、予約番号＊＊の録音タイマーと重複しています。設定を OFF にするか、時間を変更してください。
時報設定と設定時間が重なっています	• 先に設定されている時報設定の設定時間（前後３分間）と、録音タイマーまたはおめざめタイマーの設定時間が重なっている場合に表示されます。設定を OFF にするか、時間を変更してください。
おめざめタイマーと設定時間が重なっています	• 先に設定されているおめざめタイマーの設定時間と、時報設定の設定時間（前後３分間）または録音タイマーの設定時間が重なっている場合に表示されます。 設定を OFF にするか、時間を変更してください。
タイマー録音するために SD カードを挿入してください	• タイマー予約設定完了時に SD カードが挿入されていない場合に表示されます。
設定できない日時です 確認してください	•「日付指定」でのタイマー予約で、現在日時よりも前の日時で設定しようとした場合に表示されます。
タイマー動作が実行できませんでした	• タイマー予約実行時に、SD カードが挿入されていない場合や録音中の場合など、タイマー予約の実行を失敗した場合に表示されます。
範囲外の＊＊＊をキャンセルしました ＊＊＊	•「日付指定」での録音タイマー、おめざめタイマー設定後に、タイマー予約が実行できない日時に時計設定が変更された場合に表示されます。No. ＊＊が表示された場合は、予約番号＊＊の録音タイマー設定が取り消されています。
全曲モードの再生範囲外のファイルです ＊＊＊できません（最大 3000 曲）	• MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（▭）の全曲リピート（ランダム）での再生範囲（最大 3,000 ファイル）以降のファイルを選択しようとした場合や、3,000 ファイル以降のファイルを選択中に、全曲リピート（ランダム）設定しようとした場合に表示されます。（P.30）

その他 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください
電池	外部機器でまだ使える電池が本機で使用できない	• 本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。 • 電池残量に関係なく、オートパワーオフを設定していると、設定時間後に電源が切れます。(P.46)
操作	本機が動作しない	• 電池が外れていませんか？一度電池を完全に取り出してから、電池を正常に入れ直してください。 • 電池が消耗していませんか？（P.9） • 電源コードが外れていませんか？奥まできちんと挿入してください。(P.9)
	操作ができない	• パソコン接続時は本機では操作できません。
ラジオ	良く受信できない 雑音やひずみが多い	•（AM ラジオの場合）AM ジャイロアンテナの角度を変えてください。 •（FM ラジオの場合）FM ロッドアンテナの長さや向きを変えてください。 • 周波数を合わせ直してください。 • 建物の中では電波が弱まり聴こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお使いください。 • 本機を他のラジオやテレビ、ビデオなどの電気製品の近くで使用すると、お互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。お近くのラジオやテレビ、ビデオなどの電源を切ってみてください。 • 本機に携帯電話を近づけると雑音の原因となります。離してお使いください。
	放送局名が表示されなくなった	• オートプリセットで放送局を登録した場合、放送局名は表示されません。放送地域を設定し直してください。(P.12)
録音	メモリー容量を使い切るのが早い	• 録音音質によって録音可能時間は大きく変わります。(P.57) • データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。
	録音が勝手に一時停止する	• シンクロ録音機能が働いていませんか？（P.45）
	録音時にヘッドホンで音声を聴くと、「ピー」という雑音が混じる	• 音量を下げてください。(P.13) • ヘッドホンと本機を離してください。 • 外部マイク使用時は、ヘッドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	• 録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 • メモリーを使い切っていませんか？
	録音したファイルに音とびが発生する	• パソコンで本機の内蔵メモリーや SD カードをフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。(P.47) • SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。 • 当社基準において動作確認済みの SD カードについては、当社サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/audio/ • シンクロ録音機能が働いていませんか？（P.45）
	録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	•「マイク感度」を「低」に設定するか、録音音源からの距離を遠ざけてください。(P.43)
	録音した音声に雑音がまざって聞き取りにくい	• 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 • マイク感度（P.43）を切り替えてみてください。 •（AM ラジオ録音時)AM 画面表示を OFF にしてみてください。(P.20) •（FM ラジオ録音時）FM 音声モードをモノラルに切り替えてみてください。(P.20)
	FM ラジオを録音すると、音が明瞭でない	• FM ラジオ録音音質を 32kbps（モノラル録音）で設定していませんか？（P.14）
	録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	• 外部マイクの場合は「マイク感度」(P.43)、外部機器の場合は「外部入力レベル設定」(P.44）を切り替えてみてください。

	こんなときは	ここをご確認ください
タイマー	タイマー予約が正常に動作しない	• 正しい日時で時計設定を行ってください。(P.11) • 録音先のフォルダがいっぱいになっていませんか？不要なファイルを消去してください。(P.38) • 電池が消耗していませんか？新しい電池と交換してください。(P.9) • メモリーの空き容量はありますか？不要なファイルを消去してください。(P.38) • パソコンなどに接続していませんか？パソコンから取り外してください。 • おめざめタイマー再生時刻になっても本機を使用していると現操作が優先されます。■（停止 / 戻る）を押して、停止状態にしてください。 • 録音タイマー開始時刻に他の録音をしていると現在の録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、録音タイマーが優先されます。
再生	スピーカーから音が出ない	• ヘッドホンを接続していませんか？（P.6）
	音声が聞こえない	• 音量を調整してください。(P.13)
	フォルダ内（TUNER_AM、TUNER_FM、TIMER、VOICE、RECYCLE（🗑）のファイルが再生できない	• パソコンでファイル名を変更していませんか？ TUNER_AM、TUNER_FM、TIMER、VOICE、RECYCLE（🗑）フォルダ内ではファイル名の付けかたに従った名前のファイルしか再生できません。(P.50) ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。MUSIC フォルダに転送すると再生できます。(P.49) • 転送先が異なっていませんか？パソコンからファイル転送する際、録音用フォルダに入れても、本機で再生できません。MUSIC フォルダに転送してください。(P.49)
	MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（📁）内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	• 本機では MP3 ファイルと当社製 IC レコーダーで録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。WMA、AAC など、その他のファイルは再生できません。 • MUSIC フォルダと他機器のフォルダ（📁）では、1 つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。それを超えて転送されたファイルは再生されません。 • 再生可能な階層を超えている場合は再生できません。(P.50) • 著作権保護されているファイルは、エクスプローラーで転送しても再生できません。 • プレイリスト登録後に元のファイルが消去されていませんか？元のフォルダにそのファイルを再度転送するか、プレイリストからそのファイル名を解除してください。(P.41)
	再生速度が速かったり、遅かったりする	• 再生速度を変更していませんか？（P.29）
	ヘッドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	• プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ • プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。
	選択ファイルが勝手に変わる“再生するファイルがありません”と表示される	• パソコンに接続して本機のファイルを消去すると本機での選択ファイルが変わる場合があります。MUSIC フォルダの場合、MUSIC フォルダ直下のファイルが選択され、ファイルがない場合は“再生するファイルがありません”と表示されます。ファイルを選択し直してください。
	A-B リピート再生をすると無音や小さい音で再生される	• シャドーイングが ON になっていませんか？（P.31）
	フォルダ頭出しが働かない	• フォルダ頭出しは、ファイル総数が 3,000 ファイルまで働きます。他機器のフォルダでも同様です。 例）MUSIC フォルダに 100 曲入ったフォルダを複数保存した場合、フォルダ頭出しが働くのは 30 個目のフォルダまでです。

その他 故障かな？と思ったら（続き）

	こんなときは	ここをご確認ください
その他	電源が入らない	• 電池が消耗していませんか？新しい乾電池と交換してください。（P.9） • 乾電池でお使いの場合、本体に電源コードが接続されていませんか？本体から電源コードを外してください。（P.9）
	電源が勝手に切れる	• オートパワーオフ機能（停止で一定時間※操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P.46） ※ お買い上げ時は 15 分に設定されています。
	電源コードの接続や電池交換を 48 時間以内に行っても、時計の設定がお買い上げ時の状態に戻る	• 本体内蔵のメモリー用電池が消耗している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
	SD カードが認識されない	• SD カードが正しく挿入されていますか？本機の電源を切り、SD カードを入れ直してください。（P.32） • SD カードをパソコンなどでフォーマットしていませんか？本機でフォーマットし直してください。（P.47）
	ファイル、フォルダが消去できない	• パソコンから転送した MP3 や WMA 音楽ファイルが読み取り専用の場合、MUSIC フォルダや他機器のフォルダ（ ）のサブフォルダは、本機では消去できません。パソコンで消去してください。
	ファイルを消去したのに空き容量が増えない	• RECYCLE（ ）フォルダを空にしてください。（P.39）
	ファイル分割ができない	• ファイルを分割したい位置まで再生後、■（停止 / 戻る）を押してから分割してください。（P.35） • メモリーの空き容量はありますか？ • 録音可能ファイル数が最大に達していませんか？199（T1 ～ T20 はそれぞれ 99）ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 • ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	• 電源コードを正しく接続してください。（P.9） • パソコンと本機を正しく接続してください。（P.48） • パソコンから本機を取り外し、再接続してください。 • 接続されているほかの USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。パソコンに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に本機を接続してください。 • USB ハブを経由して接続していませんか？ハブを取り外してパソコンの USB 端子に USB ケーブルで接続してください。 • パソコンの OS が非対応ではありませんか？（P.48）
	録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	• 時計を合わせてください。（P.11）
	日時が正しく表示されない	• 電源コードを抜いた、または電池切れになってから長い間放置していませんか？時計設定（日時）を設定し直してください。（P.11）
	ファイル検索が正常に動作しない	• ファイル検索は、録音用フォルダ内のファイルを録音の際に付けられたファイル名（P.50）から検索します。そのため、時計設定が正しく設定されていない状態で録音したファイル、パソコンで名前を変更したファイル、パソコンで MUSIC フォルダなどに移動したファイルは、正常に検索できない場合があります。 • ファイル検索は選択中のメモリー内のみを検索します。ファイル検索の前に検索するメモリー（内蔵メモリー /SD カード）を選択してください。（P.32）

仕様

電源	AC 100 V、50/60 Hz DC 9.0 V（単 2 形乾電池× 6 本使用）
消費電力	AC 8 W（電源切時　約 0.8 W）

最大外形寸法	約 280（W）mm × 約 179（H）mm × 約 149（D）mm
本体寸法	約 280（W）mm × 約 175（H）mm × 約 134（D）mm
質量	約 1,960 g（乾電池を含む）/ 約 1,570 g（乾電池を含まず）
USB	USB2.0（Hi-Speed）ミニ B タイプ
時計バックアップ	約 48 時間
記憶容量（内蔵メモリー）※1	4 GB
対応記録メディア※1	SD / microSD カード（2 GB） SDHC / microSDHC カード（4 GB ～ 32 GB）
スピーカー	7.7 cm 丸形、8 Ω、2 個
実用最大出力	0.9 W + 0.9 W（JEITA）
ヘッドホン端子	φ 3.5 mm、32 Ω、11 mW + 11 mW（JEITA）
マイク / 外部入力端子	φ 3.5 mm
AM ループアンテナ端子	φ 3.5 mm
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	20% RH ～ 80% RH（結露なきこと）

ラジオ受信周波数	AM 522 kHz ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ） FM 76.0 MHz ～ 90.0 MHz（0.1 MHz ステップ）
サンプリング周波数 （[ ] 内は録音モード）	（AM/FM ラジオ録音） 48/44.1/32 kHz（受信周波数で異なる） （外部録音） [MP3 192kbps] 44.1 kHz [MP3 128kbps] 44.1 kHz [MP3 32kbps]　16 kHz
録音方式	MP3
再生可能ビットレート※2	16 kbps ～ 320 kbps（MP3）/ 1411.2 kbps、1536 kbps（PCM）※3
再生可能サンプリング周波数※2	8 kHz ～ 48 kHz（MP3）/ 44.1 kHz、48 kHz（PCM）
周波数特性 **（－10 dB、録音 / 再生時）** （[ ] 内は録音モード）	[MP3 192kbps] 20 Hz ～ 20,000 Hz [MP3 128kbps] 20 Hz ～ 17,000 Hz [MP3 32kbps]　20 Hz ～　6,700 Hz

※1 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
※2 MUSIC フォルダ、他機器のフォルダ（ ）（数値を満たしている場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。）
※3 PCM のモノラルの場合、ビットレートは半分になります。

電池持続時間
（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	録音モード	アルカリ乾電池※6	マンガン乾電池※7
AM ラジオ受信時※4		約 41 時間 30 分	約 20 時間
FM ラジオ受信時※4		約 40 時間	約 19 時間
AM ラジオ録音時※4	MP3 192kbps	約 36 時間 30 分	約 17 時間
	MP3 128kbps	約 36 時間 30 分	約 17 時間
	MP3 32kbps	約 38 時間 30 分	約 18 時間
FM ラジオ録音時※4	MP3 192kbps	約 35 時間	約 16 時間 30 分
	MP3 128kbps	約 35 時間	約 16 時間 30 分
	MP3 32kbps	約 37 時間	約 17 時間 30 分
外部録音時※5	MP3 192kbps	約 41 時間	約 19 時間 30 分
	MP3 128kbps	約 41 時間	約 19 時間 30 分
	MP3 32kbps	約 45 時間	約 21 時間 30 分
再生時※5	MP3 192kbps	約 46 時間	約 22 時間
	MP3 128kbps	約 46 時間	約 22 時間
	MP3 32kbps	約 49 時間	約 23 時間 30 分

録音可能時間の目安
（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音モード	録音時間※8
MP3 192kbps	約 45 時間
MP3 128kbps	約 68 時間
MP3 32kbps	約 272 時間

※4 スピーカー再生時、音量 12
※5 スピーカー再生時、音量 8
※6 パナソニックアルカリ単 2 形乾電池使用
※7 パナソニックマンガン単 2 形乾電池使用
※8 内蔵メモリー（4 GB）使用時

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
●電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
●機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
●特にお子様にはご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
●液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠ 警告

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠ 注意

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
●背面の通気孔をふさがないでください。
●また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
●また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
●スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。

アンテナを目や顔に近づけない、人に向けない

アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。
●アンテナを伸ばして使用するときは、十分注意してください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
●音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

さくいん

やりたいことから探す

キーワードから探す

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

その他 保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	(　　　)　　　–
お買い上げ日	年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」「故障かな？と思ったら」（52 ～ 56 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ラジオレコーダー
●品　番	RF-DR100
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
部品代　部品および補助材料代
出張料　技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 6 年
当社は、このラジオレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……………………………

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電 話　フリーダイヤル（携帯・PHS OK）0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は……………

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話　フリーダイヤル（携帯・PHS OK）0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	所在地
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0512

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は……………………………

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan **Tokyo** (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は……………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

• 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のラジオレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグまたは電池を抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT4K81-3
M0612KZ3112